

キラメキテラス ヘルスケアホスピタル

2021 年度 医療法人玉昌会 キラメキテラスヘルスケアホスピタル

《理 念》

患者さまの意思と権利を尊重し、「医療人としての感性（低賞感微）」に満ちた医療・福祉活動を提供します

《基本方針》

1. 慢性期病院としての豊かな「感性・知識」に基づいたヒューマン・サービスの提供を全職員で目指します。
2. 地域との連携及び病診連携を図り、在宅復帰に向けたシームレスでしかも一貫した高齢者医療や福祉を目指し、地域社会の幸福に貢献します。
3. 予防医学（健康診断・人間ドック）の充実を図り、生活習慣病の予防・早期発見を目指し、地域社会の発展に貢献します。
4. 職員の生活向上と幸福に寄与します。

《運営方針》

1. 「医療人としての感性」を磨く。
2. 「目配り・気配りの心、気付きの心」の自己獲得に努める。
3. 「働き方改革」に則り、職員の健康を守り、多様なワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現を目指す。
4. 職員の「子育て」や「スキルアップ」を支援し、働きやすい職場環境、職員の満足度が高く、やりがいのある職場環境、人を育む職場環境作りに努め、将来性のある医療人の更なる育成を推進する。
5. 病院のコンセプトである「100 日間を通して、やさしく包まれる病院」を創成するために、各部署・各職種間でパートナーシップを発揮し、更なるチーム医療の推進・ボーダーレスな業務の実践と業務改善を図り、病院機能評価認定病院としての機能の継続・充実を図り、更なる「医療の質の向上」を目指し、より安全・安心で確実な医療を提供する事により、患者さま・ご家族に選んで頂ける病院創りを目指す。
6. 「地域包括ケアシステム」の一翼を担う病院である事を、全職員が理解し、現在の病院の機能（回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟、医療療養病棟の機能）の更なる充実を図ると共に、急性期病院や在宅からの受け皿機能をより一層拡充させ、急性期医療から回復期医療・慢性期医療・在宅での医療・介護・福祉に繋がる業務をシームレスに実践し、また、人間ドック、健康診断機能の充実を図り、いち早く「未病」の時期を捉え、健康を取り戻す為の、早めのケアを行い、地域社会に貢献する。
7. 新型コロナウイルスに対する感染予防対策を全職員で徹底し、クラスターの発生を防ぎ、患者さま、利用者さま、職員の生命を守る。
8. 2021 年下半期に予定されている 19 床の増床に際しては、現在の病院機能を担保しつつ、更なる稼働率の上昇が目指せる病院運営が行えるよう、全職員参加で、万全の事前準備かつ運営を行う。
9. 2022 年 4 月からの病院運営に支障を来さないよう、来年度の診療報酬改定に速やかに準備・対応する。

キラメキテラスヘルスケアホスピタルの沿革

キラメキテラスヘルスケアホスピタルの沿革

- 1957年 1月 高田医院開設 病床数 19 床
- 1962年 8月 医療法人 玉昌会 設立認可
- 1976年 7月 人工透析治療開始
- 1985年 10月 高田内科病院を高田病院に名称変更
増改築により 167 床
- 1986年 4月 人間ドック開始
- 1986年 11月 12 床増床し、許可病床 179 床
- 1994年 8月 老人デイケア（Ⅱ）開始
- 1998年 12月 療養二群入院医療管理（Ⅰ）
- 2000年 4月 療養病棟入院基本料 1
介護療養型医療施設（106 床）
通所リハビリテーション開始
- 2000年 12月 介護療養型医療施設（105 床）
- 2003年 8月 （財）日本医療機能評価機構「認定証」取得
- 2005年 9月 介護療養型医療施設（60 床）
療養病棟入院基本料 1（119 床）
- 2006年 4月 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
- 2006年 8月 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）
- 2007年 8月 訪問リハビリテーション開始
- 2008年 8月 日本医療機能評価機構「Ver. 5 認定証」取得
- 2009年 6月 療養病棟入院基本料（179 床）
- 2009年 9月 回復期リハビリテーション病棟基準承認（30 床）
療養病棟入院基本料（149 床）
- 2010年 4月 療養病棟入院基本料 1（45 床）
療養病棟入院基本料 2（104 床）
- 2010年 11月 療養病棟入院基本料 1（89 床）
療養病棟入院基本料 2（60 床）
- 2011年 4月 協会けんぽ生活習慣病予防健診指定医療機関取得
- 2011年 6月 在宅療養支援病院
- 2012年 6月 日本慢性期医療協会「慢性期医療認定病院」認定
- 2013年 8月 日本医療機能評価機構「3rd G : Ver. 1. 0 認定証」取得

キラメキテラスヘルスケアホスピタルの沿革

- 2013年 8月 持続性推進機構「エコアクション21」認定
- 2014年 4月 在宅復帰機能強化加算（89床）
呼吸器リハビリテーション（Ⅱ）
- 2014年 10月 電子カルテ導入
- 2015年 4月 呼吸器リハビリテーション（Ⅰ）
- 2015年 6月 がん患者リハビリテーション料
- 2016年 3月 療養病棟療養環境改善加算1
- 2016年 4月 下肢末梢動脈疾患指導管理加算
- 2016年 6月 回復期リハビリテーション病棟入院料1
排尿自立指導料
- 2016年 9月 退院支援加算1
認知症ケア加算 算定開始
- 2017年 4月 地域包括ケア入院医療管理料2（14床）
- 2017年 7月 療養病棟入院基本料1（135床）
地域包括ケア入院医療管理料1（14床）
- 2017年 12月 療養病棟入院基本料1（129床）
地域包括ケア入院医療管理料1（20床）
- 2018年 8月 日本医療機能評価機構「3rd G: Ver. 2.0 認定証」取得
- 2019年 2月 新病院建設工事起工式
- 2019年 6月 地域包括ケア入院医療管理料1（30床）
- 2021年 2月 高田病院をキラメキテラスヘルスケアホスピタルに名称変更
堀江町から高麗町に移転開院
- 2022年 6月 鯉坂クリニックを統合し、トータルウェルネスセンターを新設
- 2021年 9月 病床種別変更（療養96床・一般83床）
地域一般病棟入院料1（13床）取得
- 2021年 10月 病床を19床増床し、198床
- 2021年 12月 新電子カルテ導入

キラメキテラスヘルスケアホスピタルの概要

キラメキテラスヘルスケアホスピタル 2021 年度概要

名 称 キラメキテラスヘルスケアホスピタル

所 在 地 〒890-0051

鹿児島県鹿児島市高麗町 43 番 30 号

TEL (099) 250-5600 FAX (099) 250-5151

開 設 者 理事長 高田 昌実

管 理 者 病院長 萩原 隆二

診 療 科 目 内科 腎臓内科(人工透析) 肝臓内科 消化器内科 循環器内科
脳神経内科 呼吸器内科 糖尿病内科 皮膚科 泌尿器科
リハビリテーション科

病 床 数 198 床

地域一般病棟入院料 1 17 床

地域包括ケア入院医療管理料 1 37 床

回復期リハビリテーション病棟入院料 1 35 床

療養病棟入院基本料 1 109 床

社会保険等指定

健康保険、国民健康保険、労災保険、生活保護、
身体障害者福祉法指定医、原子爆弾被爆者一般疾病医療、
自立支援医療(更正医療)、肝疾患治療かかりつけ医療機関

施 設 基 準 療養病棟入院基本料 1(109 床)

地域包括ケア入院医療管理料 1(37 床)

地域一般病棟入院基本料 1 (17 床)

回復期リハビリテーション病棟入院料 1(35 床)

機能強化加算、看護補助加算 2

脳血管疾患等リハビリテーション料(I)

運動器リハビリテーション料(I)

呼吸器リハビリテーション料(I)

がん患者リハビリテーション料

療養病棟療養環境加算 1、医療機器安全管理料 1

感染防止対策加算 2、診療録管理体制加算 2、医療安全対策加算 2

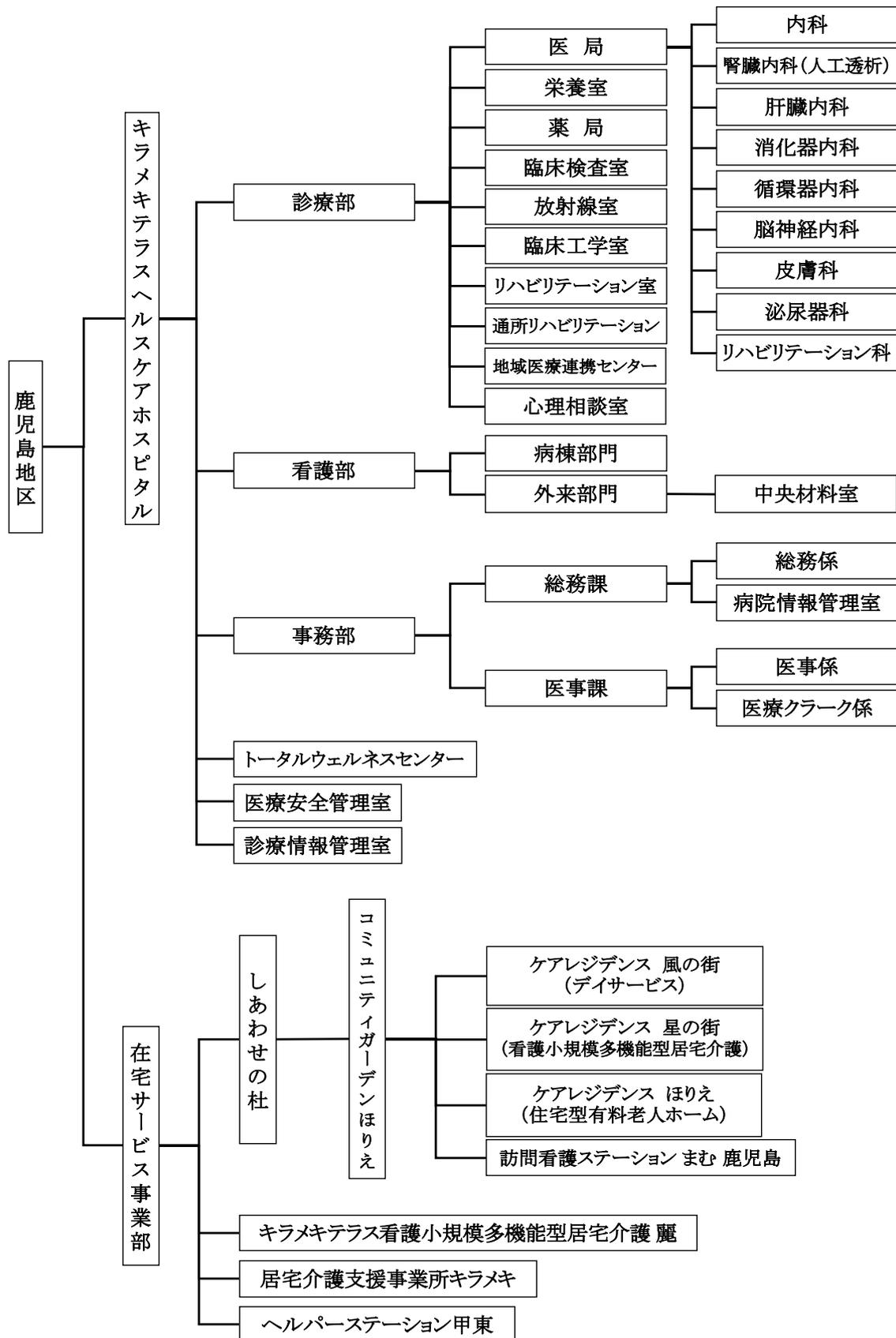
入退院支援加算 1、認知症ケア加算 3、外来排尿自立指導料

排尿自立支援加算、療養環境加算
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
人工腎臓、導入期加算 1、下肢末梢動脈疾患指導管理加算
データ提出加算 2・4、薬剤管理指導料
地域連携診療計画退院時指導料（I）
入院時食事療養（I）・入院時生活療養（I）、
在宅療養支援病院 3、在宅がん医療総合診療料
在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料

広 報 誌 いきいき た・か・た（年 4 回発行）

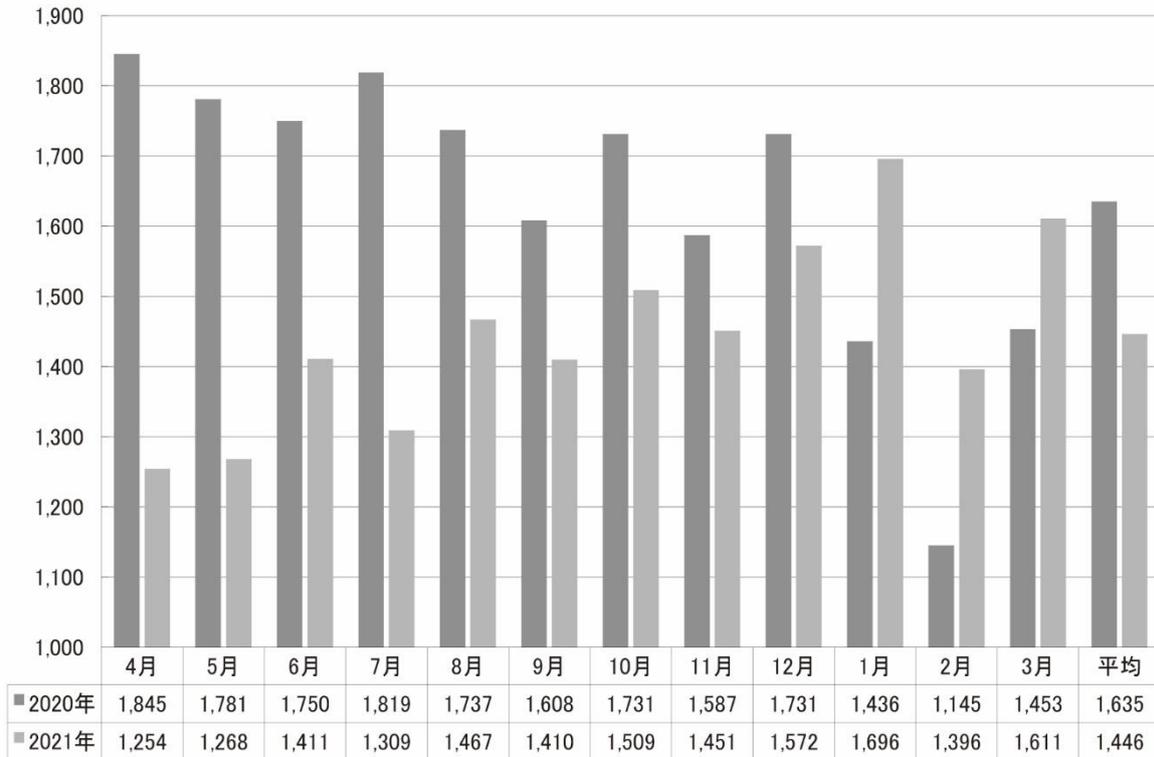
そ の 他 ・ 日本医療機能評価機構 認定 (3rd G : Ver 2. 0)
・ 通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション
・ 人間ドック (1 日コース・2 日コース)
・ 健康診断 (特定健診・特定保健指導)
・ 協会けんぽ生活習慣病予防健診
・ 看護学校実習病院
・ 医療福祉実習病院 (リハビリ・社会福祉・栄養関係)
・ 医学生実習病院
・ 薬学生 長期実務実習受入施設
・ かごしま子育て応援企業登録
・ 日本慢性期医療協会 慢性期医療認定病院 認定
・ 在宅療養支援病院
・ 持続性推進機構 エコアクション 21 (環境省推奨) 認定
・ 診療・検査医療機関 指定

医療法人 玉昌会 鹿児島地区 組織図 2022年3月31日現在

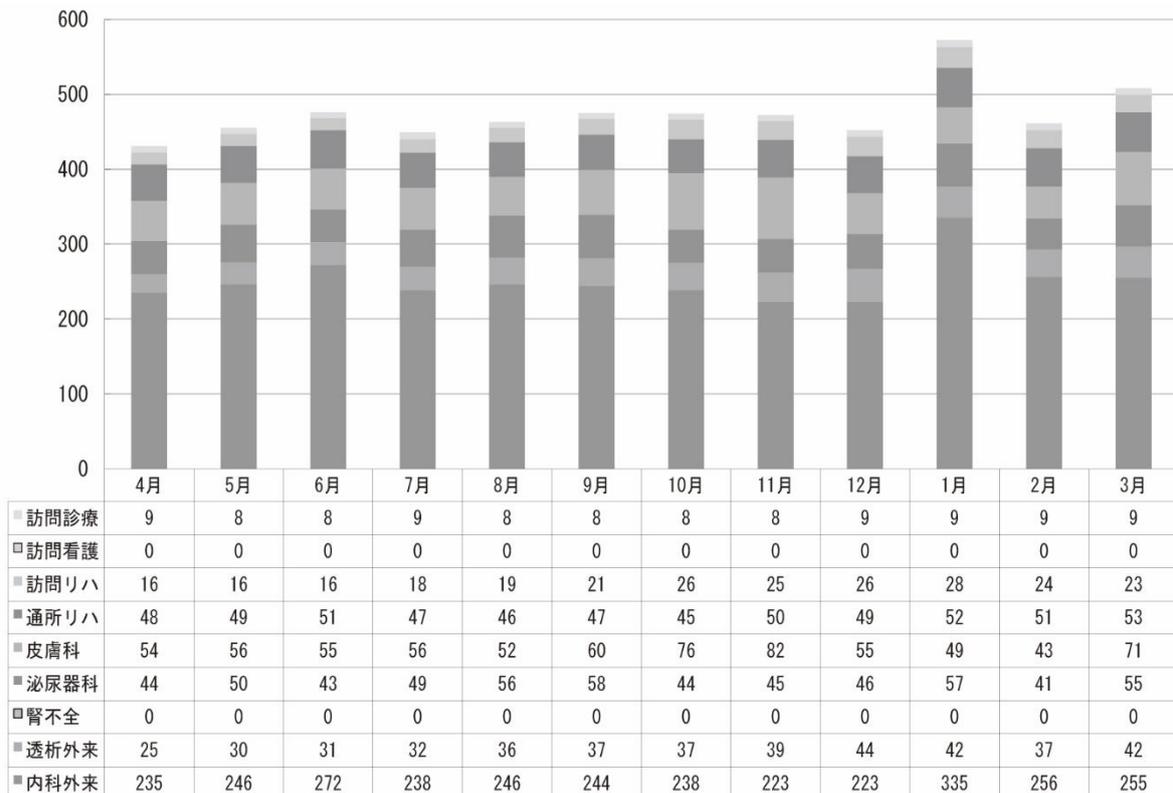


キラメキテラスヘルスケアホスピタル 統計

外来患者数推移（人）

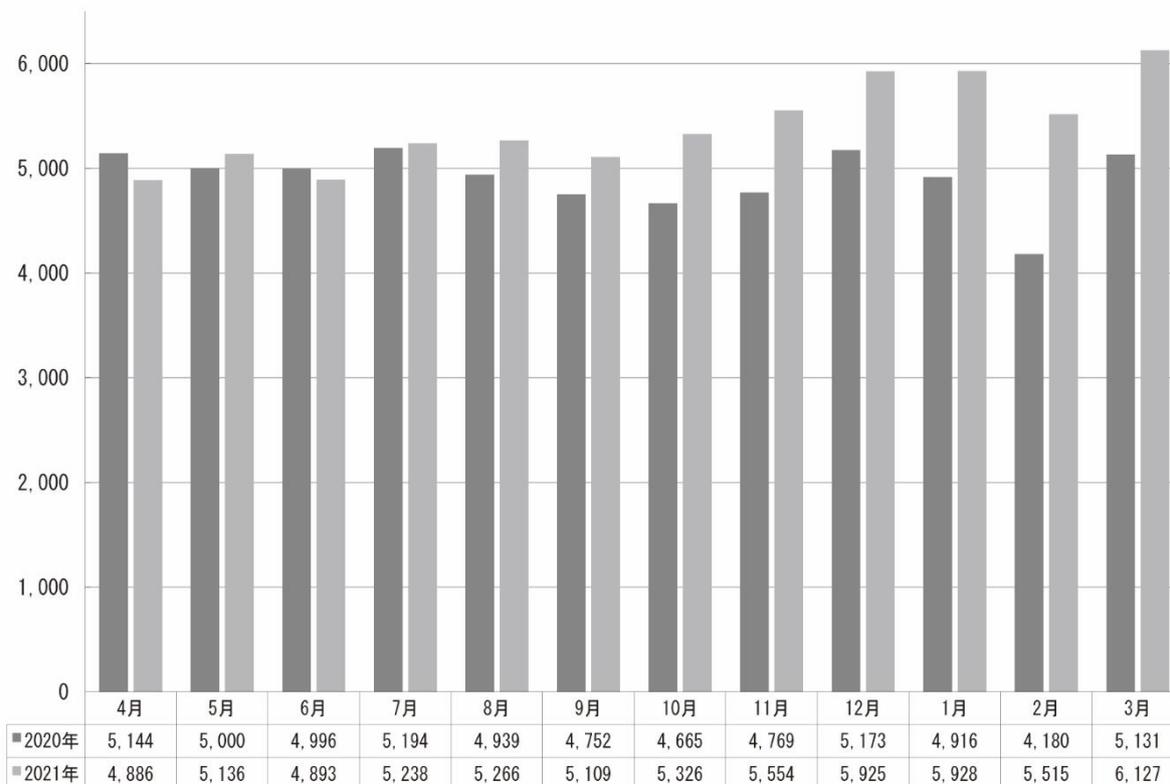


外来患者数診療科目別内訳推移（人）

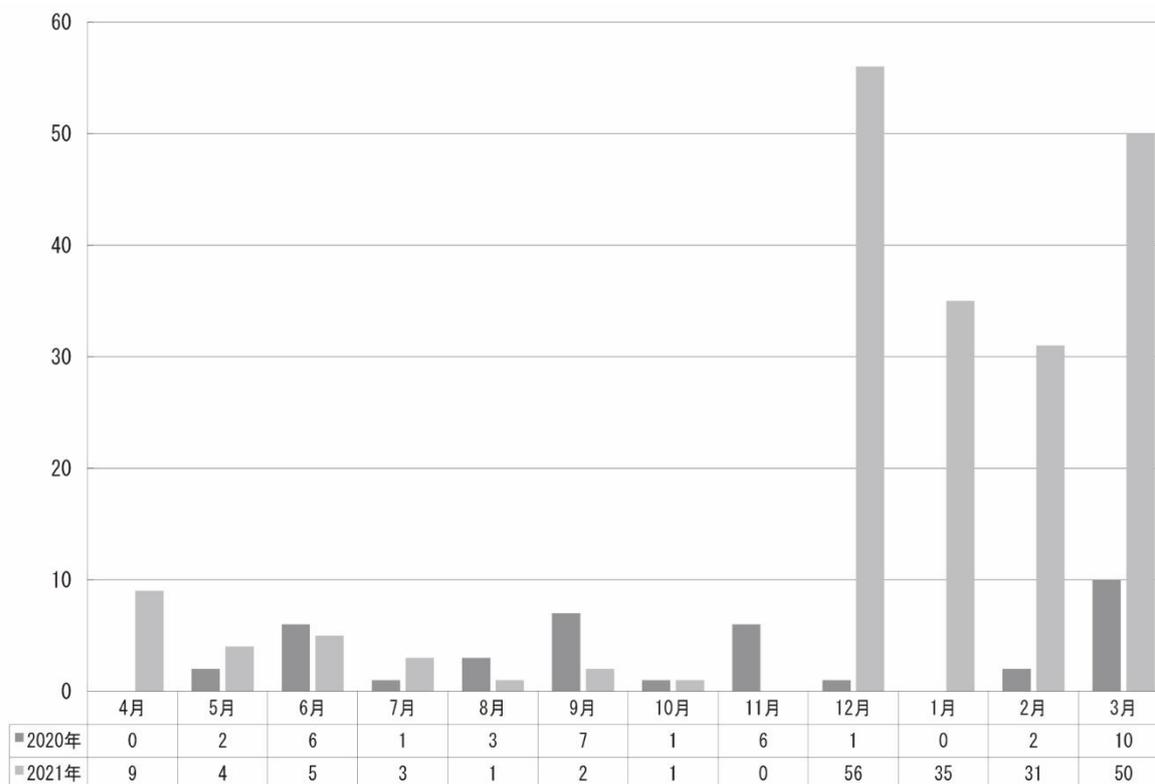


キラメキテラスヘルスケアホスピタル 統計

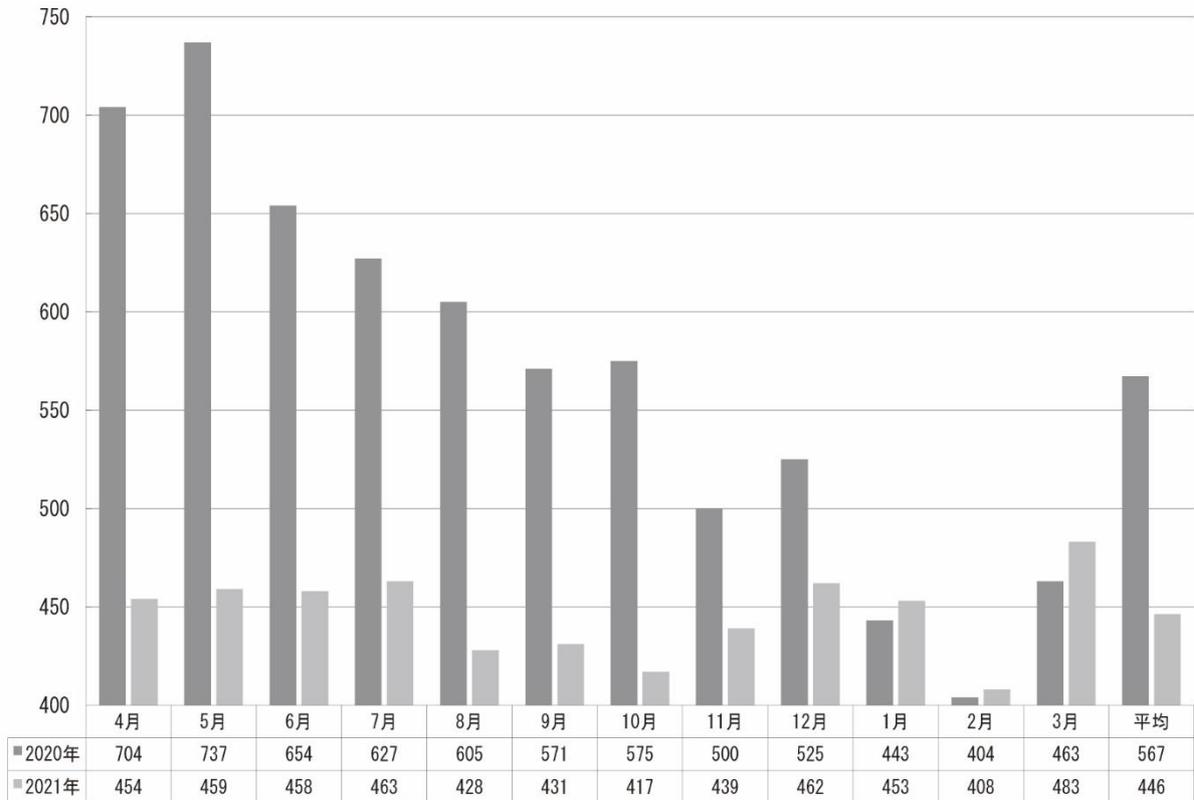
入院患者数（人）



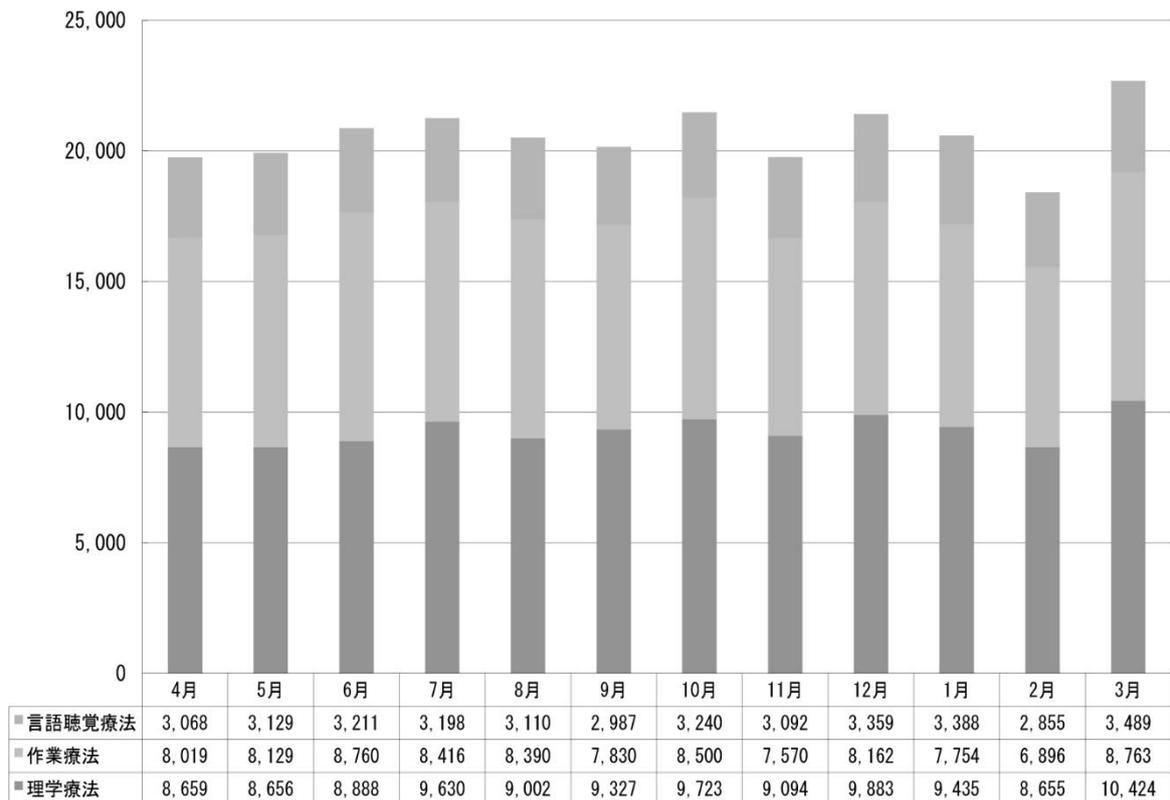
栄養指導件数（件）



通所リハビリ利用者数（人）

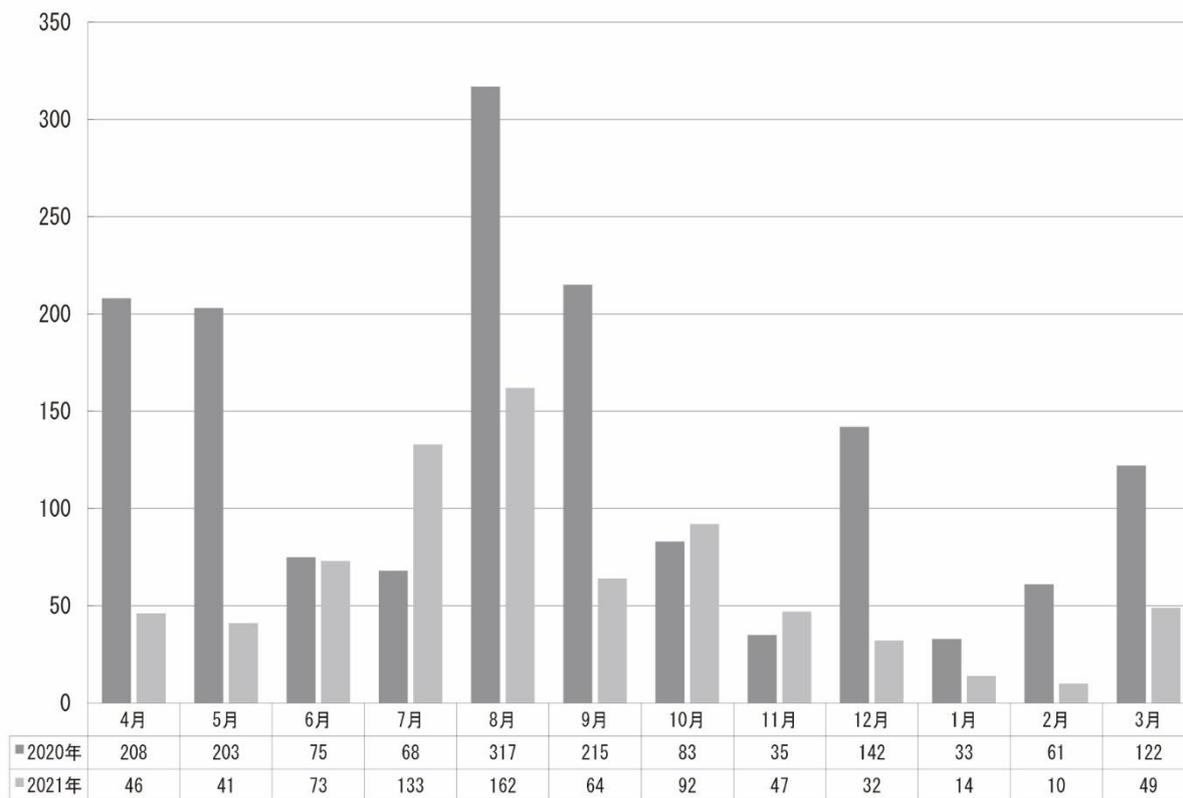


リハビリテーション室患者取扱数（件）

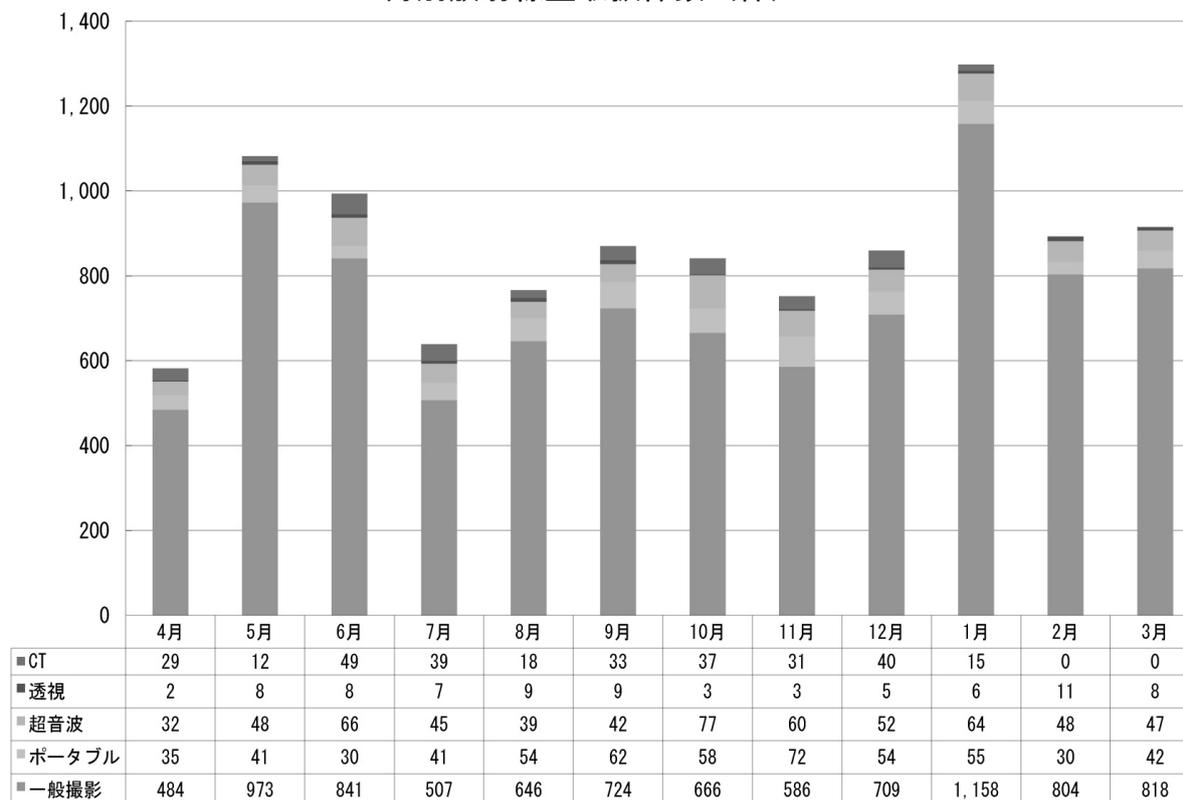


キラメキテラスヘルスケアホスピタル 統計

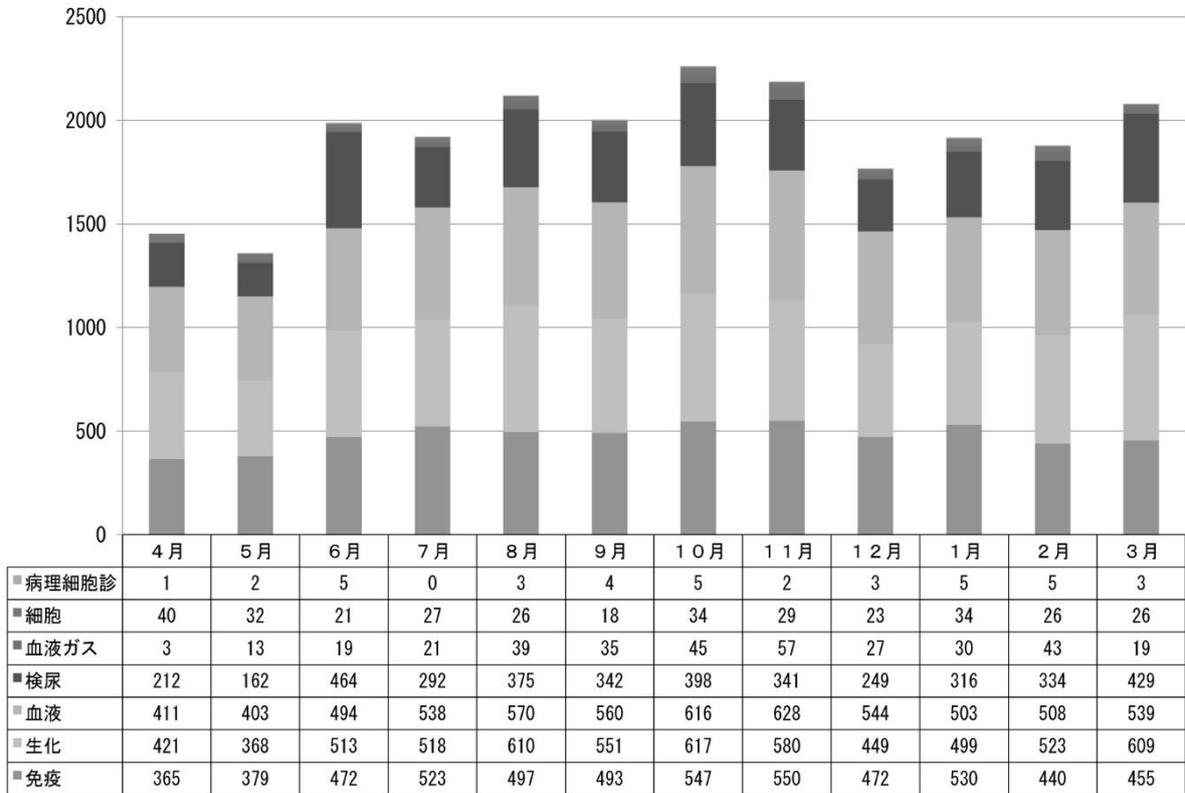
服薬指導件数（件）



月別放射線室取扱件数（件）



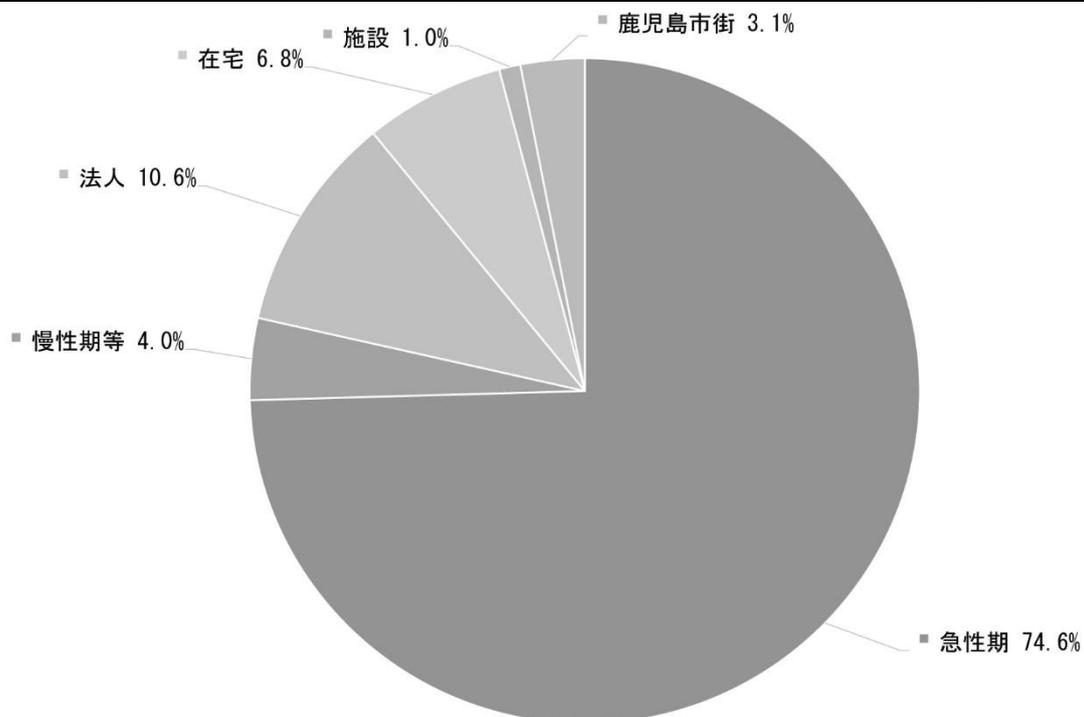
月別検査室取扱件数（件）



キラメキテラスヘルスケアホスピタル 統計

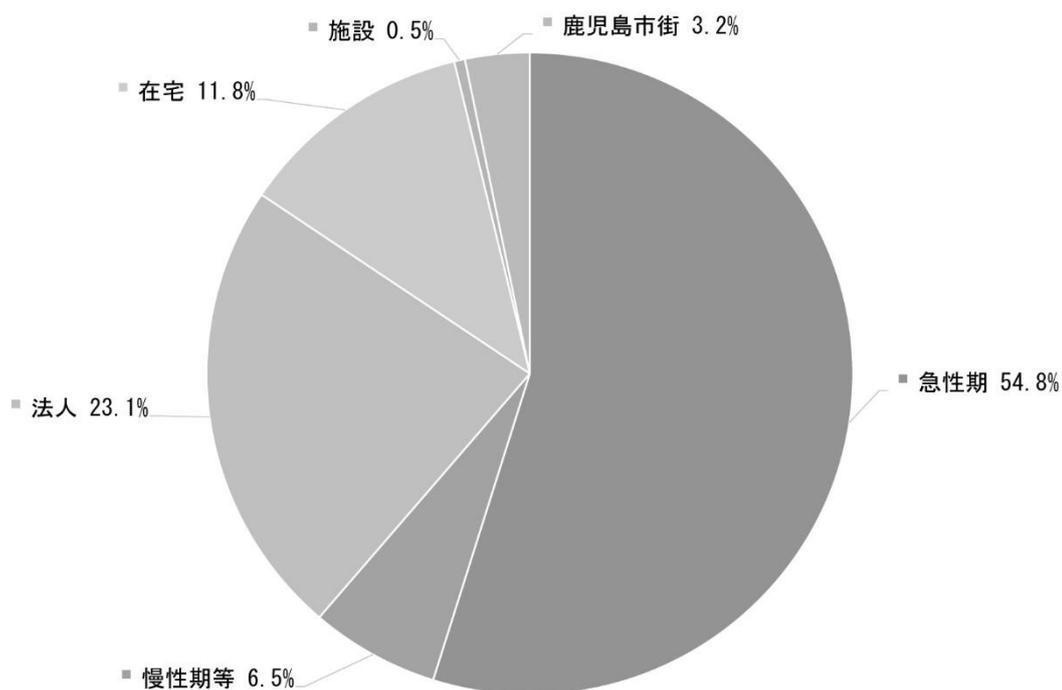
2021 年度 相談件数

	急性期	慢性期等	法人	在宅	施設	鹿児島市街
合計	507	27	72	46	7	21



2021 年度 相談件数 (透析)

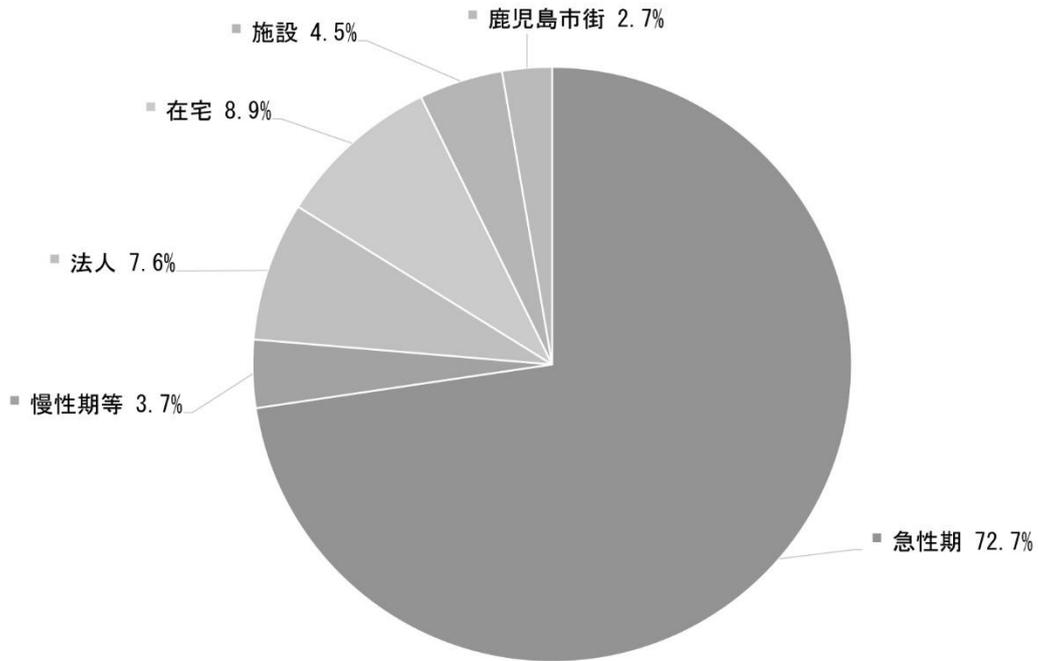
	急性期	慢性期等	法人	在宅	施設	鹿児島市街
合計	102	12	43	22	1	6



キラメキテラスヘルスケアホスピタル 統計

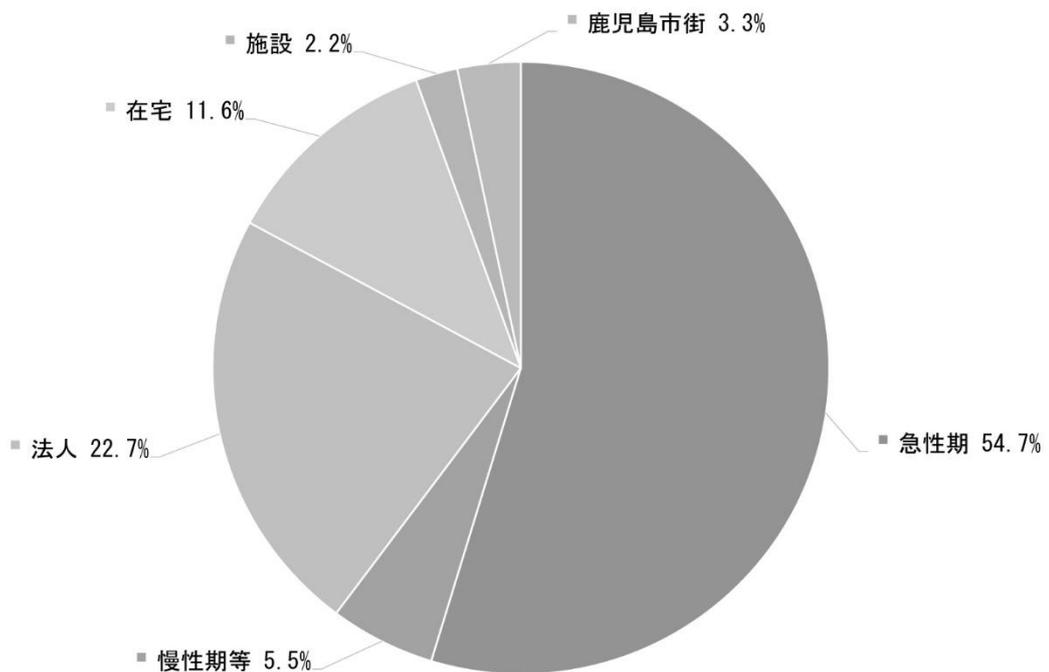
2021 年度 紹介件数

	急性期	慢性期等	法人	在宅	施設	鹿児島市街
合計	433	22	45	53	27	16



2021 年度 紹介件数（透析）

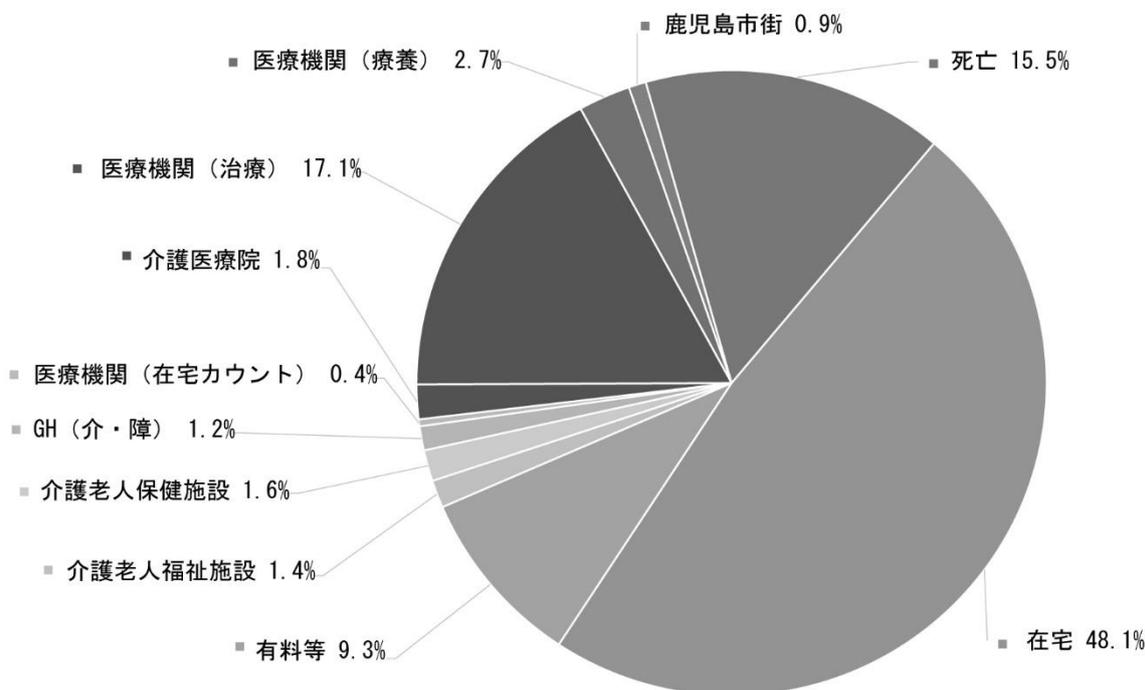
	急性期	慢性期等	法人	在宅	施設	鹿児島市街
合計	99	10	41	21	4	6



キラメキテラスヘルスケアホスピタル 統計

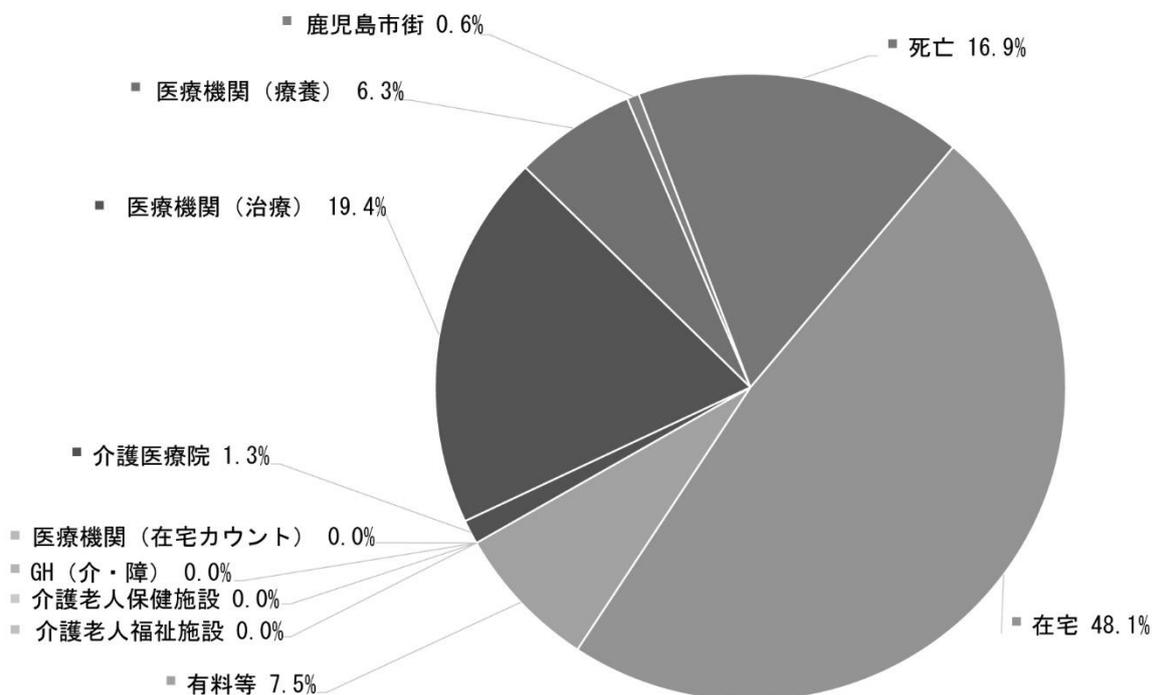
2021 年度 逆紹介件数

	在宅	有料等	介護老人 福祉施設	介護老人 保健施設	GH (介・障)	医療機関 (在宅カウント)	介護医療院	医療機関 (治療)	医療機関 (療養)	鹿児島 市街	死亡
合計	270	52	8	9	7	2	10	96	15	5	87



2021 年度 逆紹介件数 (透析)

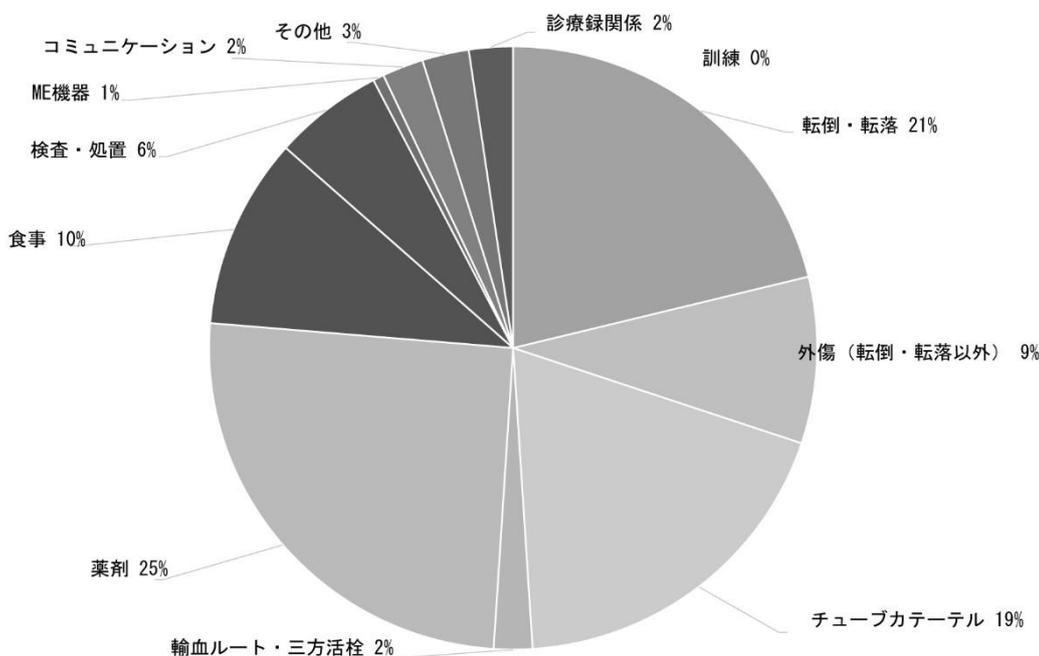
	在宅	有料等	介護老人 福祉施設	介護老人 保健施設	GH (介・障)	医療機関 (在宅カウント)	介護医療院	医療機関 (治療)	医療機関 (療養)	鹿児島 市街	死亡
合計	77	12	0	0	0	0	2	31	10	1	27



キラメキテラスヘルスケアホスピタル 統計

2021 年度インシデント・アクシデント発生状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2021 年度 集計
訓練	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
転倒・転落	10	13	19	15	22	9	8	5	15	14	9	6	145
外傷(転倒・転落以外)	5	12	10	5	10	5	8	2	1	2	0	1	61
チューブカテーテル	3	8	11	10	4	18	26	12	11	17	2	7	129
輸血ルート・三方活栓	2	1	0	2	2	4	0	2	1	0	0	0	14
薬剤	14	20	18	33	9	12	14	5	11	15	10	12	173
食事	1	9	47	0	2	1	2	0	2	1	1	4	70
検査・処置	0	5	1	4	1	0	1	1	6	7	9	5	40
ME 機器	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	4
コミュニケーション	2	2	2	0	4	1	1	0	2	1	0	0	15
その他	3	0	1	4	3	0	6	0	0	0	0	0	17
診療録関係	2	0	0	3	1	0	2	3	2	2	1	0	16
総計	42	70	109	76	58	51	70	30	51	59	32	36	684

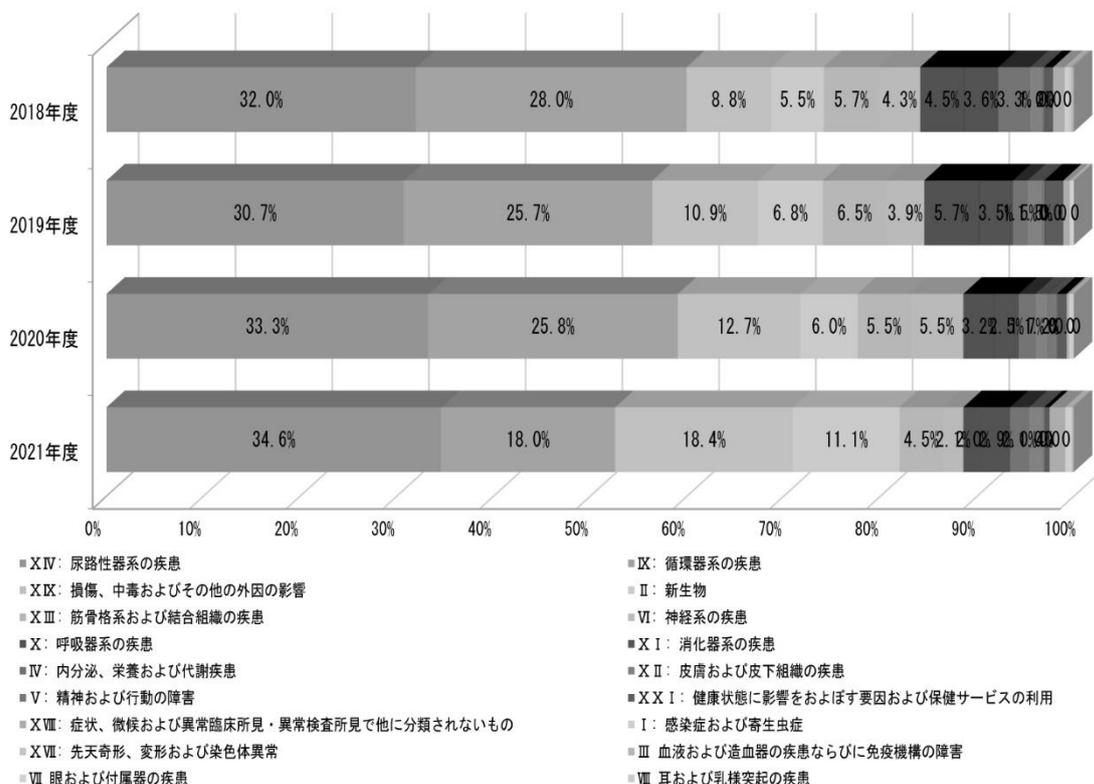


部署別件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2021 年度 集計
医局	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	4
薬局	1	0	1	3	1	0	0	0	0	1	1	1	9
栄養室	1	8	43	0	0	0	1	0	0	1	0	1	55
検査室・レントゲン室	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	4
リハビリ室	1	3	5	2	7	4	6	1	0	3	0	0	32
地域医療連携センター	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
通所リハビリ	1	2	1	2	0	0	2	0	1	0	0	0	9
3階病棟	6	7	10	9	12	6	7	2	6	4	1	11	81
4階病棟	16	20	25	25	18	19	24	12	13	19	11	7	209
5階病棟	4	17	6	11	5	8	8	5	14	8	10	6	102
6階病棟	6	10	8	14	7	8	14	7	6	15	8	6	109
外来	2	0	0	2	2	0	1	3	1	0	0	0	11
透析室	1	2	8	1	2	2	2	0	5	4	1	3	31
病院事務	2	0	0	2	2	0	4	1	3	2	0	0	16
臨床工学室	0	0	1	0	0	4	0	0	0	0	0	2	7
健診室	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	4
施設管理部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	42	70	109	75	57	51	69	32	51	59	32	37	684

キラメキテラスヘルスケアホスピタル 統計

疾病別患者数年度別推移（2018年度～2021年度）

大分類名	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	総計
XIV 尿路生殖器系の疾患	135	141	134	194	604
IX 循環器系の疾患	118	118	104	101	441
XIX 損傷、中毒およびその他の外因の影響	37	50	51	103	241
II 新生物	23	31	24	62	140
XIII 筋骨格系および結合組織の疾患	24	30	22	25	101
VI 神経系の疾患	18	18	22	12	70
X 呼吸器系の疾患	19	26	13	11	69
XI 消化器系の疾患	15	16	10	16	57
IV 内分泌、栄養および代謝疾患	14	7	7	11	39
XII 皮膚および皮下組織の疾患	5	7	5	8	25
V 精神および行動の障害	1	1	4	1	7
XXI 健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	4	9	4	3	20
XXVIII 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5	3	1	9	18
I 感染症および寄生虫症	2	1	1	4	8
XVII 先天奇形、変形および染色体異常	1				1
III 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	1			1	2
VII 眼および付属器の疾患		1			1
VIII 耳および乳様突起の疾患			1		1
総計	422	459	403	561	1845



キラメキテラスヘルスケアホスピタル 部門別活動報告

部門別活動のご紹介にあたって（玉昌会のBSC活動）

医療法人玉昌会では、Balanced Score Card（以下BSCという）を活用した部門別活動を展開しています。

※BSC（Balanced Score Card）＝組織のビジョンや戦略を4つの視点から具体的な目標や行動計画に視覚化し、実践し評価するための手法。

医療法人玉昌会のBSC運用スケジュール

2月：新年度の基本方針（法人・各地区・両院）発表
（合同スタッフ会議にて）



3月：前記方針に基づいた部門基本方針の立案



3月：具体的部署目標の設定並びに目標を達成するための具体的な施策内容と実施スケジュールの立案



4月：BSC事務局によるヒアリング、提出（PLAN）



4月～3月：施策の実施（DO）



9月、3月：結果とその評価（CHECK）



9月：BSCの修正（ACTION）



BSCの立案においては次の4つの視点区分がポイントとなります。

- A. 患者満足の視点
- B. 健全経営の視点
- C. 医療の質向上の視点
- D. 学習と成長の視点

この4つの視点区分にもとづいて、各部署で立案されたものです。

3 階病棟

【今年度の取り組み】

- A-1. 接遇の向上
達成目標：苦情相談処理報告書 4 件以下
- B-1. ①残業時間の削減
達成目標：月平均残業時間 3.2 時間以下
- ②ベッド稼働率の向上
達成目標：ベッド稼働率 96%以上
- C-1. ①看護記録の充実
達成目標：退院カルテ 1 ヶ月以内処理率 75%以上
- ②3a 以上の事故を減らす
達成目標：3a 以上の事故が 6 件以下
- ③手指消毒の徹底
達成目標：手指消毒平均回数 4 回以上
- ④褥瘡の新規発生率を減らす
達成目標：褥瘡新規発生率 1%以下
- D-1. 院内勉強会への参加率の向上
達成目標：院内勉強会参加率 83%以上

【今年度を振り返って】

目標を達成できた項目が 8 項目中 6 項目あり、病棟一丸となって目標達成への取り組みがよくできたと思います。ただ、目標未達成の項目が 2 項目あったことに関して、今年度は療養病棟の増床や新電子カルテの導入という大きなイベントがありました。そのイベントにより職員への負担が大きくなってしまったことが、目標未達成の要因ではないかと考えられました。新しい電子カルテは以前の電子カルテと別物で一から覚えなければならないことが多く、それに加え通常業務もこなさなければならないため、残業時間が増え、疲労が蓄積されたことで、ケアが繁雑になってしまったのだと思います。

徐々に新電子カルテの扱いも慣れてきていますので、今後は部署全員で残業時間を減らす取り組みを考え、みんなの意見を聞きながら働き方改革をすすめていくことを目標にし、患者さまに安心安全なケアが提供できる病棟を目指して、目標達成に向けて日々精進していきたいと思っています。

4 階病棟

【今年度の取り組み】

- A-1. 接遇の向上
達成目標：クレーム件数 1 件以下。
- B-1. 残業時間の削減
達成目標：月平均 4 時間以下。
- B-2. ベッド稼働率の向上
達成目標：ベッド稼働率 90%以上。
- C-1. 看護記録の充実
達成目標：退院カルテ処理 1 ヶ月以内 100%以上。
- C-2. 3a 以上の事故を減らす
達成目標：3a 以上の事故件数が 20 件以下。
手指消毒の徹底
達成目標：手指消毒剤使用量 4 回以上。

D-1. 院内勉強会の参加率向上

達成目標：院内勉強会参加率 92%以上。

【今年度を振り返って】

今年度は、回復期リハビリ病棟の増床とオーバーベッド対応を行い、稼働率の向上に努めた。スタッフの退職や産休等で、人員が減る中、スタッフに非常に忙しい思いをさせてしまった。しかし、稼働率に関しては、目標設定以上の数値を出すことができた。残業などが増えることも考えたが、業務改善などを行い、予想以上に抑える事が出来た。ただ、入退院が増えたことにより、カルテの退院処理が間に合わないことも多々あったため、次年度への対応も検討が必要である。

5 階病棟

【今年度の取り組み】

A-1. 接遇の向上

達成目標：苦情相談処理報告書 3 件以下

B-1. 残業時間の削減

達成目標：月平均残業時間 2.5 時間以内。

B-2. ベッド稼働率の向上

達成目標：ベッド稼働率 92%以上

C-1. 看護記録の充実

達成目標：退院カルテ処理率 1 カ月以内の処理率 74%以上

C-2. 3a 以上の事故を減らす

達成目標：転倒・転落による 3a 以上の事故 13 件以下

C-3. 手指消毒の徹底

達成目標：1 日 1 人あたりの手指消毒回数 5 回以上

C-4. 褥瘡の新規発生率を減らす

達成目標：褥瘡の新規発生率 4%以下

D-1. 院内勉強会への参加の向上

達成目標：院内勉強会参加率 89%以上。

【今年度を振り返って】

9 月より地域一般病床が開始となり地域包括ケア病床の増床に伴い多数の患者さま、家族と関わる頻度が増えたがスタッフ間の情報共有ができており、面会制限のある中、家族への情報提供もできていた。ベッド稼働率の向上や看護カルテの充実に関しては、入退院が多いため業務内での退院支援、カルテ処理が出来ず残業時間の削減に至らなかったことから業務改善を行い委員会メンバーの協力のもと目標達成に向けて今後も取り組んでいこうと思います。

6 階病棟

【今年度の取り組み】

A-1. 苦情の減少

達成目標：苦情相談処理報告書 2 件以下（達成）

A-2. 残業時間の削減

達成目標：月の平均残業時間 3.2 時間以下（未達成）

B-1. ベッド稼働率の向上

キラメキテラスヘルスケアホスピタル 部門別活動報告

達成目標：ベッド稼働率 98%（達成）

C-1. 退院カルテ 1 ヶ月以内処理率の向上

達成目標：70%（未達成）

C-2. 3a 以上の事故件数減少

達成目標：25 件（未達成）

C-3. 手指消毒の向上

達成目標：1 日 1 患者あたりの消毒液の使用回数 3.2 回（達成）

C-4. 新規褥瘡発生率減少

達成目標：1 ヶ月発生率 2.4%以下（達成）

D-1. 院内勉強会参加率の向上

達成目標：83%（達成）

【今年度を振り返って】

苦情の減少、ベッド稼働率の向上、手指消毒の向上、新規褥瘡発生率減少、院内勉強会参加率の向上については、スタッフの協力により達成できた。残業時間の削減、退院カルテ 1 ヶ月以内処理率については、12 月～電子カルテ移行に伴い残業時間の増加、退院カルテ 1 ヶ月以内処理率の低下に繋がったと考えられる。スタッフの電子カルテ操作の取得により、残業時間の削減、退院カルテ 1 ヶ月以内処理率の向上に取り組んでいく。3a 以上の事故件数減少に関しては、高齢で皮膚の脆弱な患者さまも多いため、アームカバーやレッグウォーマーを使用し保護に努め目標達成にむけて取り組みを継続していく。

透析室

【今年度の取り組み】

A-1. 患者教育

達成目標：月平均 31 件のカンファレンスを行い情報共有を図る

B-1. 残業時間の削減

達成目標：残業時間月平均 2 時間未満

B-2. 透析患者の増加

達成目標：患者総数月平均 75 名

C-1. 看護記録の充実

達成目標：1 ヶ月以内の退院カルテ処理率 65%

C-2. 医療事故を起こさない

達成目標：レベル 3a 以上 3 件以下

C-3. 感染防止

達成目標：手指消毒剤の使用回数月平均 3.2 回

D-1. 看護部勉強会参加率の向上

達成目標：参加率平均 95%以上

【今年度を振り返って】

カンファレンスについては、担当者を中心にスケジュール調整を行い実施し、周知の声掛けも行った。残業時間については、電子カルテ移行と増床に伴う患者数増加により業務が繁雑となり増加した。透析患者数増加については前文の通り、増加の一途となり

月平均 84 名となった。カルテ処理率については、記録委員を中心に取り組んだ。
医療事故については、抜針事故が 2 件発生した為、対策の継続は必要である。
感染防止については、消毒薬の使用回数が他部署より少ない傾向となった為、
声掛けを行いスタッフの意識の向上を図る。
勉強会に関しては継続して 100%維持の取り組みを行っていく

外来

【今年度の取り組み】

- A-1. 患者満足の充実
達成目標：患者満足度 苦情報告もなく、患者様からのお褒めの言葉もあった。
- B-1. 残業時間の削減
達成目標：2 時間 47 分
- B-2. 人間ドック・健康診断の増加
達成目標：巡回健診・院内健診合計 6347 件
- C-1. 病棟看護師との連携
達成目標：外来患者の申し送り 10 件
- C-2. 3a 以上の事故 3 件以下
達成目標：3a 以上 2 件以下。
- C-3. 手指消毒の徹底
達成目標：消毒液の使用量は 1 日 1 患者 3. 99 回
- D-1. 院内勉強会への参加率の向上 コロナ禍により、オンデマンドでの参加
達成目標：視聴率 88%

【今年度を振り返って】

移転後 1 年経過し、新しい環境での外来であったがスタッフの丁寧な対応により苦情もなくお褒めの言葉があり、より一層の接遇の向上に努める。
残業については、スタッフの減少、電子カルテの導入に伴い残業の増加が認められた。今後業務の改善を行い効率的に業務に取り組み、次の段階の保健指導に力をいれ他部署との連携を図り外来患者、健診者数の増加につなげていく。
新型コロナの発生者数の増加に伴い、自己の健康管理に努め外来における感染対策を外来部門全体で連携をとり、意識づけを行い感染対策に取り組んでいく。
院内の勉強会の参加率を増加させ、そして外来に関連した研修を取り上げスタッフへの動機づけ支援を行っていく

栄養室

【今年度の取り組み】

- A-1. 患者様嗜好調査結果向上
達成目標：嗜好調査結果全項目で 8 割以上達成
- A-2. 積極的な患者介入
達成目標：栄養相談月 20 件以上
- B-1. 栄養指導の推進
達成目標：栄養指導件数月 10 件以上（非加算含む）
- B-2. 臨床栄養学実習受け入れ

キラメキテラスヘルスケアホスピタル 部門別活動報告

達成目標：年間2名以上

C-1. 嗜好調査設問の見直し

達成目標：全病棟温冷配膳車導入の為、食事の温冷に対しての設問を追加

C-2. 特定保健指導の実施

達成目標：特定保健指導（職員健診の対象者のみ）の実施

C-3. 栄養指導媒体の構築

達成目標：各疾患別栄養指導媒体の見直し・作成・活用

D-1. 院内勉強会への参加

達成目標：参加率70%以上

D-2. 院外勉強会への参加

達成目標：年5回以上参加

【今年度を振り返って】

今年度は多職種との連携を図り、特定保健指導（職員健診の対象者のみ）を実施した。

指導の統一化を図る為、フローチャート・媒体の作成を行った。

今後は特定保健指導の受診件数増加を期待し、個々に適した栄養指導を実施出来るよう努める。

患者介入に関しては、入院時は必ずベッドサイドに訪室し、嗜好調査等を実施、昼食時はミールラウンドを行い患者様の意向を出来る限り取り入れ、きめ細やかに対応した。（栄養相談件数：月平均22件）

嗜好調査に関しては、9項目中4項目で80%以上達成した。

年2回実施し患者様への聞き取りを行う中で食形態に関する意見が多く聞かれた。

要因として年齢層の広がりや骨折等、リハビリ目的の患者様の増加などが考えられる。

課題として献立・食形態の見直しを行い、更に患者様の状態に合った食事提供を目指していく。

今後は、「患者ファースト」をモットーとし、嚥下調整食から普通食に対応出来る質の高い栄養管理を行っていく。

薬局

【今年度の取り組み】

A. 外来患者さまの待ち時間短縮や院外処方箋への対応

達成目標：外来患者の待ち時間調査において、30分以上の待たせている件数を5件にする。

院外処方箋を発行する患者様の医薬品登録・入力の補助を行い、スムーズな処方箋発行ができるようにする。

B-1. 新型コロナウイルスに対する感染予防対策を全職員で徹底し、クラスターの発生を防ぎ、患者さま、利用者さま、職員の生命を守る。

達成目標：新型コロナウイルス感染症に対する最新の情報収集につとめ、速やかな情報提供を行う。

他部署・業者と情報を共有し、手指消毒液・ワクチン等が不足しないように在庫の確保に努める。

B-2. 病院運営に支障を来さないよう、来年度の診療報酬改定に速やかに準備・対応する。

達成目標：院内採用医薬品を見直し、必要な医薬品の追加・削除、後発医薬品への変更を行う。

C-1. 医療の質の向上のため適正な医薬品情報の提供

達成目標：他部署・患者様からの薬に対する質問・問い合わせ件数を増やし、コンプライアンスの向上・安全な薬物療法を提供する。

C-2. チーム医療の推進のため業務改善を図る

達成目標：他部署からの問い合わせに対応した際は、記録に残し、その日のうちに部署内で情報共有を行い、全員で理解する。問い合わせからの返答の時間を短くする。

D. 疾患と薬剤の基礎と実践に基づく知識の習得

達成目標：疾患と薬剤に対する理解を深め、臨床に活用できる知識を身に着ける。月1回疾患を決め、勉強会を実施する。

【今年度を振り返って】

今年度は、各種カンファレンスへの参加や回診・委員会のラウンド等に取り組んではいたが、参加率等は昨年度より下がった。電子カルテシステムが変わり、部署内での業務改善を行い、病棟での活動時間を増やすことで、今後は、臨床でよりよい医療の提供ができるよう、取り組みを深めていきたい。来年度も引き続き、チーム医療への積極的参加、薬剤の自己管理に向けて、服薬指導・服薬支援を行ってきたい。また、後発医薬品の出荷調整など、医薬品の供給に支障をきたしかねない事象が相次いで起こっているが、迅速な情報収集に努め、各部署との連携を図り、医薬品の安定供給に努め、患者様の薬物療法に影響が出ないようにしていく。

臨床検査室

【今年度の取り組み】

- C-1. インシデント・アクシデントの防止に努める
達成目標：インシデント・アクシデント発生なし。
- C-2. 内部精度管理の実施及び外部精度管理への参加
達成目標：内部精度管理、外部精度管理ともに±2SD内の測定値を目標とする。
- D-1. 院内勉強会への参加
達成目標：85%以上の参加。
- D-2. 院外勉強会、研修会及び講習会等への参加
達成目標：10回以上の参加。

【今年度を振り返って】

ルーチン検査は、定期採血検体も含め、至急性、測定時間等を考慮し、効率よく実施できた。インシデント・アクシデントの防止については、各々が十分に注意を払い、更に、マルチチェックを徹底したが、電子カルテの新規更新による操作・確認作業に慣れない点があり、インシデントが1件発生した。内部精度管理は、毎日実施し、安定した測定値を維持することができた。その結果、外部精度管理の測定値についてもほぼ良好な結果が得られた。メーカーとの保守点検契約が終了となったものの、出来る範囲で測定機器のメンテナンスを定期的実施した。これらにより、正確で精度の高い臨床検査データを提供することができたと思われる。また、人員削減や健診・ドックの受診者や院内・外注検査の増加に伴い、多忙な検査体制となったが、他部門の協力を得ながらも、例年通り、円滑な運営を維持することができた。新型コロナウイルス禍のため、院外での研修会、講習会等が、かなり減少したなか、WEB会議、動画配信等を含め、自己のスキルアップのため日程を調整して参加した。若干ではあるが、電子カルテの新規更新に携わることが出来たことは、困難な事柄も多々あったが良い経験となった。

トータルウェルネスセンター院内健診

【今年度の取り組み】

- A-1. ドック・協会けんぽ健診において検査がスムーズに行えるように心がける
達成目標：問診票、検査票、手引きの見直し作成・内視鏡検査を受ける方へのパンフレット作成。
- B-1. ドック・協会けんぽ健診利用者に基本検査以外のオプション検査追加のご案内
達成目標：予約連絡時にオプション追加の案内を行う。・オプション追加率を15%。
- C-1. 予約時に来院前に検温・マスク着用をお願いを徹底・手指消毒の徹底
健診室内の清掃の徹底
達成目標：健診室内に出入りする際、手指消毒をお願いし、待合室の除菌に心がける。
- C-2. 健診結果の入力を迅速に行う。未入金を防ぐ為に、請求書発行後確認の徹底
達成目標：結果、各企業への請求、実績処理を10日までにを行うように心がける。

キラメキテラスヘルスケアホスピタル 部門別活動報告

C-3. CARADA アプリの導入

達成目標：CARADA アプリ登録者が結果をできるだけ早く確認出来るように、結果のアップロードを迅速に行う。

D-1. 健診結果より、食生活改善にアドバイスできるように努め、保健指導対象者に実施を勧める

達成目標：利用者さまに、生活習慣の改善アドバイスをして健康への意識を増やせるようにしたい。

【今年度を振り返って】

電子カルテ移行に伴い、事前案内資料の見直しや業務の流れの確認を行った。新システム導入により予約入力や結果入力作業にかかる時間を削減することが出来、その分 受診者様への事前資料や健診結果もスピーディーにお届けすることが可能になった。

また、健診サービスの拡大も実現。人間ドック、協会けんぽの生活習慣病予防健診、一般健診すべてにおいて前年度を上回る件数の依頼を頂き、はじめて特定保健指導も実施した。オプション追加の依頼も増えている。

コロナ感染症対策として利用者様用更衣室に新しい空気清浄機を設置する等、安全対策にも取り組むことが出来た。今後も患者様の声を大切にしながら、より良い健診サービスの提供に努めたい。

リハビリテーション室

【今年度の取り組み】

A-1. 未病・予防の視点で地域リハビリ活動へ積極的に参加し、地域社会へ貢献する

達成目標：介護予防事業の依頼実績 20 件以上

依頼実績 33 件 対目標比 165%

B-1. リハビリ提供時間の充実を図る

達成目標：平均単位数 19 単位以上

平均単位数 19.2 単位 対目標非 101%

B-2. 回復期病棟の充実・強化を図る

達成目標：実績指数 40 以上

実績指数 49.5 対目標比 124%

C-1. 回復期病棟の適正な運営

達成目標：患者当り 1 日平均 8 単位以上

患者当り 1 日平均 8.5 単位 対目標比 106%

C-2. 最先端のリハビリテーションロボット機器を使用したリハビリ提供

達成目標：運動量増加機器加算算定 10 件以上

運動量増加機器加算算定 12 件 対目標比 120%

D-1. 教育システムの強化を図る

達成目標：症例検討会・勉強会実施各 10 件以上

症例検討会・勉強会実施各 5 件 対目標比 50%

D-2. 研究・学会発表へ取り組みスキルアップを図る

達成目標：全国学会で 2 演題を発表する。

全国学会で 2 演題を発表 対目標比 100%

【今年度を振り返って】

今年度は新入職員 5 名、中途入職者 3 名、配置異動管理者 2 名の合計 10 名増員して組織・管理体制を整えることでリハビリテーション提供実績が 19.2 単位と目標数値を達成することで患者様へのリハビリ提供時間の充実を果たすことが出来ました。10 月には地域一般・地域包括病棟を増床し、地域一般病棟から回復期病棟や地域包括病棟

への受入体制を整えることで患者さまへ円滑なりハビリテーション提供を実現することが出来ました。また、いまきいれ総合病院との連携体制が確立し、回復期病棟の稼働率が上昇すると共に人材配置を適切に行うことで、回復期病棟の患者さま1人当たり1日平均単位数8.5単位を提供することで充実したりハビリ提供量を確保し、患者さまの宅復帰支援を積極的にバックアップ致しました。

患者さまへの充実したりハビリテーション提供を実施することと並行して、鹿児島大学病院が開発した最先端りハビリテーションロボット機器『CoCoroe』を使用することで、セラピストの提供するりハビリ以外にも患者さまへのりハビリ提供量や活動量を向上する取組みが出来ました。

研究への取り組みでは、鹿児島大学病院のりハビリテーション科下堂菌教授が非常勤勤務することで専門分野である脳血管疾患の研究への取組みを開始し、11月には第5回日本りハビリテーション医学会において演題発表を行う事が出来ました。診療では、教授による特別回診をすることで患者さまへ質の高いりハビリテーション医療・治療を提供することで患者満足度向上に寄与しました。

一方、地域りハビリテーションへの取り組みでは、コロナ禍の中、感染対策を徹底して協会や自治体からの介護予防事業へのセラピストの講師派遣協力を実施し、移転した高麗町・荒田地区においては地域の皆様に地域公開講座として予防的なりハビリテーションを積極的に提供することで地域貢献を図ることが出来ました。

来年度は、①未予防介護事業・地域公開講座等の地域りハビリテーション活動へ参加して地域社会に貢献する②回復期病棟増床体制において充実したりハビリ提供を目指す③外来りハビリテーション提供体制の更なる充実④透析時運動指導を実施する⑤在宅事業部との連携体制強化⑥教育システムの見直し⑦研究・学会発表へ取組みスキルアップを図ることを目標とする。今後もスタッフ一人ひとりが良き社会人として、患者さまやご家族さまそして地域の方々へ対応することを念頭に、キラメキテラスヘルスケアホスピタルがいまきいれ総合病院との連携を深化し、近隣病院やクリニック、介護事業所等との連携を更に推し進めることで地域包括ケアシステム・地域共生社会において地域の皆さま方に欠かすことが出来ない中核的な医療機関として全体最適を常に考慮したりハビリテーション室として目標達成に向けて努力していきたいと思っております。

通所りハビリテーション

【今年度の取り組み】

A-1. 質の高いサービスの提供

達成目標：満足度調査の実施。接遇勉強会の開催。

B-1. 腰痛予防に努める

達成目標：福祉用具の使用方法の理解と獲得。勉強会の開催。統一した方法で腰痛予防に努める。

B-2. 新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、部署内クラスター発生を防ぐ

達成目標：新型コロナウイルス感染予防の勉強会を開催し、感染予防対策の周知を図る。

利用者への案内文作成・配布により部署内クラスターの発生を防ぐ。

C-1. 新規利用者の獲得

達成目標：上半期新規利用者の獲得：5名、下半期新規利用者の獲得：5名

C-2. 1日平均利用者数の増加

達成目標：上半期1日平均利用者数：17.5名、下半期1日平均利用者数：18名

C-3. 通所りハビリテーション新規利用者の受け入れを継続し、法人内事業所へのサービス移行を促す。

達成目標：移行支援加算の継続、年間2名の移行支援（サービス移行者）

D-1. 院内外勉強会参加

達成目標：部署内勉強会の開催（1回/月）。

【今年度を振り返って】

今年度は病院移転後からの新年度を迎え、利用定員20名で通所りハビリテーションの営業・運営を行って参りました。昨年より利用定員が削減し実績は減少したものの、年間の平均利用者数は17.1名、利用稼働実績は86%で

キラメキテラスヘルスケアホスピタル 部門別活動報告

した。8・9・10・11月は入院の利用者が多く、1日利用平均が減少した結果となりましたが、定期的に相談・問い合わせがあり、新規利用者も受け入れができております。新規利用者においても年間18名を受け入れました。一方で、体調不良・転倒転落による入院が多く、利用総数・平均利用者数が伸びない状況が続きました。その理由として、契約書の中に利用休止6ヶ月とあり、入院した利用者の枠を空けた状態で営業・受け入れを行い、利用者の利用再開を待つ状況が続いたことが原因だと考えます。今後としては入院の利用者の再開を待つのではなく、日々利用定員20名で受け入れ調整を行いたいと思います。また、受け入れ～卒業を明確にし、通所リハビリで困わない運営を検討していきたいと考えています。利用者の情報を他部署と連携・共有し、円滑な通所リハビリの運営を目指したいと思います。

心理相談室

【今年度の取り組み】

A-1. 患者様のニーズの把握

達成目標：ニーズを把握するための方法について検討を行い、検討した方法について実践していく。

B-1. 職員のメンタルヘルスに寄与

達成目標：心理相談室の予防的活用方法について検討を行い、予防的活用方法の提示に努める。

C-1. 各部署との連携の維持

達成目標：患者さまへの介入依頼があった時は依頼者のニーズを明確に把握できるよう努め、介入方針の提示に努める。

D-1. 専門職としてのスキルアップ

達成目標：学習したスキルの活用方法について情報を整理し、スキル活用のための手順やマニュアルを整備していく。

【今年度を振り返って】

今年度は前任者に引き続き、利用しやすい心理相談室を目標としていたが、他部署の協力もあり、多くの相談をただける結果となった。患者様のニーズの把握に関しては、今後検討が必要な病棟はあるものの、回復期病棟においては入院時面接実施や回診に参加する方法でニーズの把握に努めた。職員のメンタルヘルスに関しては予防的活用として入職時面接を重視し、非常勤心理士と協力して管理者と情報共有を図りながら、早期のフォローに努めた。各部署との連携については、患者さまへの介入依頼があった時、依頼者や関係者から丁寧な情報収集を行い、可能な限り当日中に介入を行い、介入方針について依頼者に相談・報告を行うことで連携の維持に努めた。完成には至っていないが、学習したスキルについても実践に用いながら、マニュアル整備に取り掛かることが出来た。今後も患者支援、職員支援に寄与すべく、業務に取り組んでいきたい。

臨床工学室

【今年度の取り組み】

A-1. 医療事故・医療過誤の防止

達成目標：医療機器、ME機器の不具合に関するインシデント・アクシデントを年間0件にする。

B-1. ME機器点検の確実な実施

達成目標：ME機器の定期点検を年度計画表に基づき計画通り、期間内に100%実施する。

B-2. 血液浄化療法の新たなニーズに対応

達成目標：オンラインHDF、I-HDFを5名以上に実施する。

C-1. ME機器関連の勉強会の実施

達成目標：ME機器関連の勉強会を年6回以上、実施する。

C-2. 病棟ラウンドの実施

キラメキテラスヘルスケアホスピタル 部門別活動報告

達成目標：人工呼吸器使用中は1日1回、また、他の使用中のME機器は、週1回のラウンドを実施する。

D-1. 学会およびセミナー等への参加

達成目標：学会、セミナー等へ年3回以上の参加または、演題発表を行う。

【今年度を振り返って】

今年度も1名の入職があり7名体制となり、部署目標は全て達成することができた。院内ME機器の点検・修理を年間76件行い、不具合は0件であった。血液浄化療法としては、オンラインHDFとI-HDFを10名に実施し、ビジター透析者2名にもオンラインHDFを実施した。また、吸着型血液浄化器(レオカーナ)も1名に実施した。現在、コロナ禍で学会等が中止になる中、Web等のセミナー、講演会の聴講を8回以上行い、鹿児島県人工透析研究会へ1名参加した。来年度も、今年度同様、医療事故・医療過誤の防止に努めるとともに、血液浄化療法の新たなニーズに対応できるように、技能・技術の習得に努めていきたい。

放射線室

【今年度の取り組み】

A-1. X線機器の毎日の点検(始業、終業)

達成目標：毎日始業・終業点検を行う。

B-1. 撮影実績を前年度より増加に努める。

達成目標：前年度より3%の増加を目指す。

C-1. 院外研修会への参加、自己学習におけるスキルアップ

達成目標：上期・下期それぞれ2回参加する。

D-1. 被曝線量管理を行う。

達成目標：全検査100%行う。

【今年度を振り返って】

今年度は電子カルテの更新があり、放射線機器の始業・終業点検が容易になり毎日の点検が行えました。また同様に被曝線量管理も新システムで行えるようになったのでこちらも100%行うことができました。撮影実績も一般撮影は前年度比33%増で、超音波検査も前年度比24%増となりました。院外研修会への参加も新型コロナウイルスの影響でほぼ全てがWebセミナーでしたが年間6回の参加となりました。来年度も撮影実績の増加に努め患者様の安全を第一に更に検査技術・医療の質の向上を目指し取り組んでいきたいと思えます。

地域医療連携センター

【今年度の取り組み】

A-1. 患者さま及び御家族の満足度向上に努めます。

達成目標：当院退院患者さまを対象に満足度調査を施行し、回収率50%以上を目指す。

B-1. 病院全体のベッド稼働率向上に努めます。

達成目標：病床種別再編に伴う患者層の変化及び層状に伴い、様々な変化が予測されるが、ベッド稼働率94%以上/月の確保を目指す。

B-2. 連携機関及び患者さま・御家族へ選んで頂ける病院創りの基になる「当院へ望むこと」を訪問活動等を通して把握し、病院運営へ貢献することを目指します。

達成目標：『入退院支援加算』算定要件内の「年3回20箇所以上の連携機関との面談を実施」という条件を満たす。

C-1. 診療報酬改定等に速やかに対応すると同時に、病棟数増加や病棟種別変更を見据えた各加算等の算定要件を満たせるように尽力する。専門性を活かし、院内他職種及び院外専門職(介護支援専門員等)と適切な連携を図り、患者さま・御家族に満足して頂ける支援を行います。

キラメキテラスヘルスケアホスピタル 部門別活動報告

<医療療養病棟>

達成目標：『介護支援等連携指導料』算定を年間15件以上確保する。

<地域包括ケア病床・回復期リハビリテーション病棟>

達成目標：ベッド数増床に対応しながら、月単位で70%以上の在宅復帰率を確保する。

D-1. 職員の仕事と生活のバランスを保つ為、残業時間の短縮を図ります。

達成目標：業務負担軽減・業務分担を行い、月5時間以内/人の残業に抑えられるように努める。

D-2. 個々のスキルアップを図る。

達成目標：Zoom開催の研修も含め、年5回/人の研修参加を行い、スキルアップを図る。

【今年度を振り返って】

キラメキテラスへ移転したことで地域性及び環境の変化において、ベッド稼働に影響が生じるのではないかと推測していたが、紹介・逆紹介のバランスを考えたベッドコントロールを行うことでベッド稼働目標値を達成することが出来た。但し、ベッド増床・病床種別変更の状況に対する調整不足があったことを反省点として、次年度は各々の病床種別特性を生かしたベッドコントロールが行えるように努めたいと思います。

また、個々のスキルアップを図るという目標に対しは各々が反省をする点が多々あった為、次年度は患者さま・御家族への支援強化を図る目的でも個々のスキルアップを図れる環境設定を行っていきたいと考えています。仕事と生活のバランスを確保し、健康的に業務に取り組めるように尽力したいと思います。

医事課

【今年度の取り組み】

A-1. 接遇の向上

達成目標：満足度調査にて「悪い」の評価を5%未満にする。

A-2. 新型コロナウイルス感染防止対応を受付で実施

達成目標：新型コロナウイルス感染防止対応を実施する。

B-1. 新築移転に向け地域包括ケア病床の増床

達成目標：新築移転に向け地域包括ケア病床の増床を行う。

C-1. 新築移転の準備

達成目標：移転後の業務分担の明文化。

C-2. 働き方改革への対応

達成目標：有給休暇取得5日以上を達成する。

D-1. 事務部会の内容の向上

達成目標：毎月事務部会開催する。

D-2. 職員のスキルアップ向上院外研修の参加・資格取得

達成目標：院外研修に年4回参加する。

【今年度を振り返って】

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い総合窓口を設置するなど、これまでに経験した事ない事象で患者対応マニュアルの変更を余儀なくされた。その中でも、満足度調査の「悪い」の評価を5%未満にする事が出来た。

地域包括ケア病床の病棟単位取得においては新型コロナウイルス感染症の影響で紹介患者の減少もあり稼働率低迷で苦慮した為未達成に終わった。

有給休暇5日以上の取得は計画的に実行できた。事務部勉強会は新築移転の準備などもあり毎月開催が難し状況であった。職員のスキルアップについても、新型コロナウイルス感染症の影響で、院外研修の開催自体が自粛され参加が困難であった。今後はWEBやITアプリケーションを活用し院外研修の参加も積極的に取り組んでいきたい。

また、事務部会の議題内容を充実させて、事務職内の情報の共有と積極的な意見交換を行っていきたい。

総務係

【今年度の取り組み】

- A-1. 感染防止も含め、オンライン面会（病院⇄ご自宅）の件数増加
達成目標：オンライン面会（病院⇄ご自宅）の件数を月平均5件以上
- A-2. 職員の新型コロナワクチン接種率95%以上
達成目標：職員の新型コロナワクチン接種率95%以上
- B-1. スケジュールに沿って病床再編を行う（地域一般の取得・一般病床への転換）
達成目標：9月から病床種別の変更を行い、地域一般病床の取得し病床再編を行う。
- B-2. スケジュールに沿って19床の増床を行う
達成目標：10月から19床増床し、病院の病床数が198床にする。
- B-3. 年間平均病床稼働率94%以上
達成目標：令和3年度の年間病床平均稼働率94%以上
- C-1. 新電子カルテ導入
達成目標：12月からの新電子カルテ導入の準備を行う。
- C-2. 病院機能評価の更新審査準備
達成目標：2023年更新予定の病院機能評価の訪問審査に向けて準備を行う
- D-1. 事務部会の内容の向上
達成目標：毎月事務部会を開催し、内容を向上させる
- D-2. 職員のスキルアップ向上・院外研修に参加・資格取得
達成目標：年6回以上の院外研修へ参加する。

【今年度を振り返って】

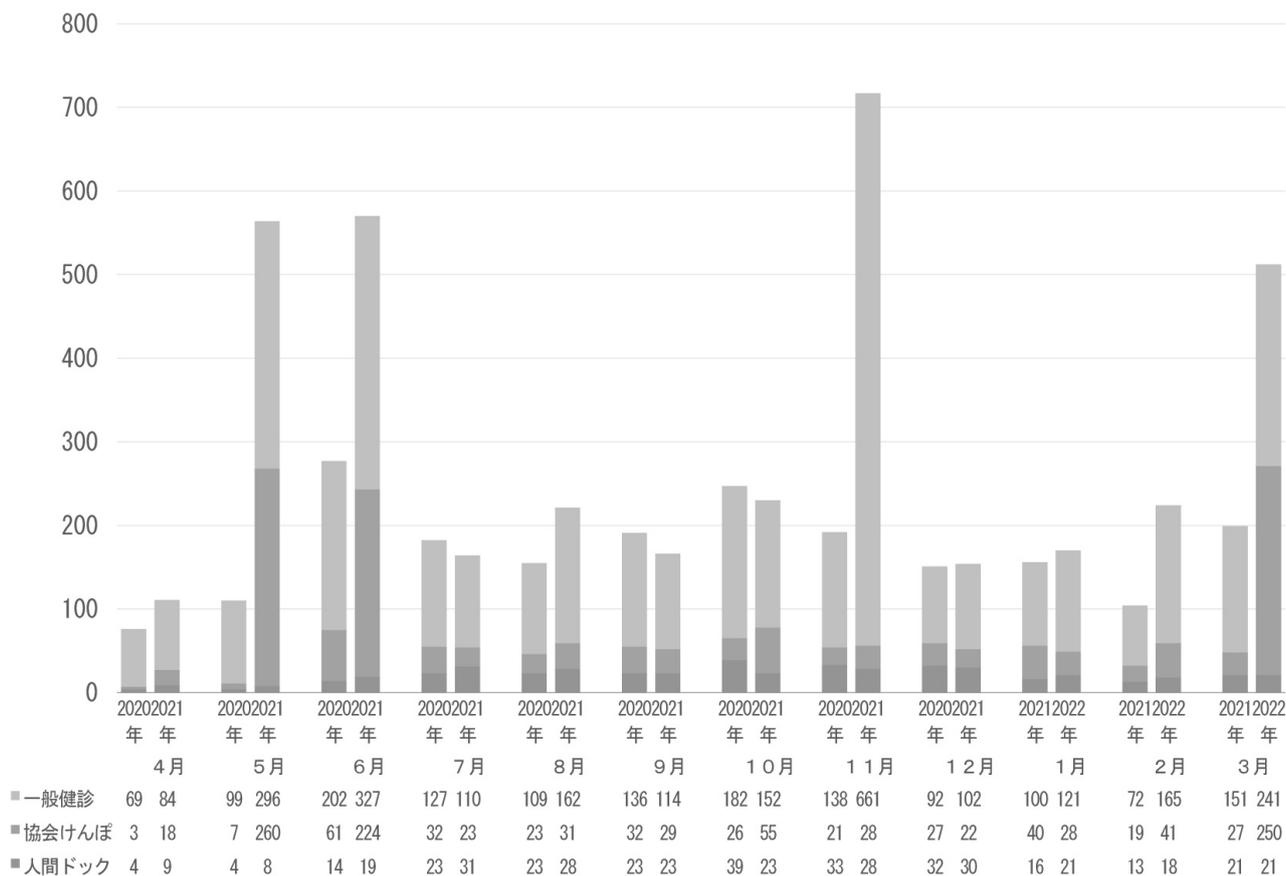
今年度は、感染症防止対策として、自宅からのオンライン面会を増加し、職員のワクチン接種も希望者全員接種することができた。病院経営・医療の質向上に関しては、9月・10月に病床再編および増床、12月の新電子カルテ導入を計画通り行うことができた。また病床稼働率も目標の94%以上を達成できた。職員のスキルアップに関しては、事務部会の毎月開催できず、院外研修参加も目標を達成することができなかつたため、来年度の課題とする。

トータルウェルネスセンター 活動報告



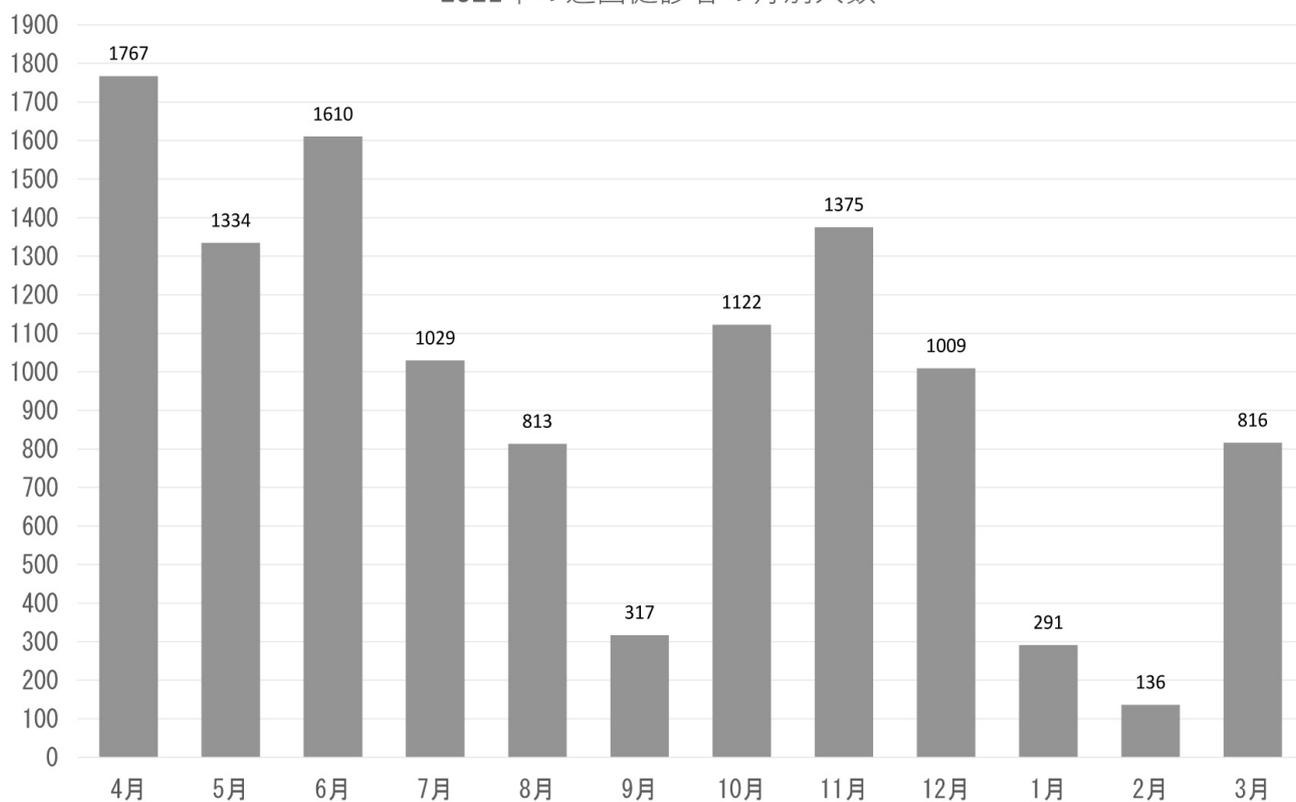
2021年6月に旧鯉坂クリニックを統合し誕生したトータルウェルネスセンターは、院内で実施する各種健康診断や人間ドック、レントゲン車にて県内各事業所を訪問し実施する巡回型の健康診断、産業医活動等、未病・予防分野を担当しています。

【院内健診部門】



【巡回健診部門】

2021年の巡回健診者の月別人数



産業医契約事業所数 26 事業所

市町村	事業所数
鹿児島市	18
始良市	3
霧島市	2
指宿市	1
南九州市	1
日置市	1

キラメキテラスヘルスケアホスピタル 各種委員会

2021年度 委員会・会議 一覧

	委員会名	開催日	目的
診療関係	診療情報管理委員会	2ヶ月に1回	診療録管理室の運営管理、診療録及び諸様式伝票類の検討等を行い、診療上の有効的効率的運営を図る
	給食運営委員会	第2月曜	栄養管理・給食管理上の現状、その問題点・課題を把握し、改善策を検討・実施する
	薬事審議会	2ヶ月に1回	薬物療法の合理的発展を図る
	倫理検討会	年3回	倫理上問題となる症例への対応および倫理に関する教育・研修などにより、患者さま中心の医療を推進するために必要な事項を定める
	口腔機能向上委員会	第2水曜	口腔に関する現状を討議することで知識・実技の向上を図ることを目的とする
	地域包括ケア病棟運営委員会	第1火曜	地域包括ケア病棟業務に関わる他職種の連携・連絡を図る
	回復期病棟運営委員会	第1金曜	回復期リハ病棟業務に関わる他職種の連携・連絡を図る
	トイトレ委員会	第3水曜	患者さまの排尿自立へむけて、排尿ケアチームで支援を行うことを目的とする。
教育関係	クリニカルパス委員会	年2回	クリニカルパスを作成することで、患者さまに対し恒常的に同一水準以上の医療を受けられるようにすることでQOLの向上など治療効果を高め、病院全体の医療向上に寄与すること。
	サービス向上委員会	第4火曜	患者さま・ご家族より寄せられたご意見・苦情・提案に関して病院として真摯に取組み、サービスの向上を目的とする
	個人情報管理委員会	3ヶ月に1回	患者さまや職員等に関する個人情報を適切に取扱い、患者さまから信頼されることと診療情報の提供を適切に行うことを目的とする
	教育委員会	第2火曜	医療の知識、技術の向上を目的とする
	NS教育委員会	第2火曜	看護の知識、技術の向上を目的とする
	CW教育委員会	第4水曜	介護の知識、技術の向上を目的とする
	NS中途採用者教育会議	第3水曜	看護師中途採用者の教育課程の進行状況及び技術取得状況の確認を行うことを目的とする。
	CW中途採用者教育会議	第4水曜	ケアワーカーの中途採用者の教育課程の進行状況及び技術取得状況の確認を行うことを目的とする。
	記録委員会	第2金曜	看護の質の向上を目指し、看護記録に関する検討を行い、その体制の整備を図ることを目的とする
	環境美化委員会	第4月曜	病院内外の美化に努めることを目的とする
	情報管理委員会	第2月曜	情報管理業務の円滑な運営を目的とする
図書委員会	第1金曜	院内図書の円滑な購入及び管理を行う	
医療安全対策関係	医療安全管理委員会	第1月曜	医療安全管理対策を総合的に企画、実施することを目的とする
	医療安全カンファレンス	毎週金曜	医療安全管理対策を実効あるものとするを目的とする
	褥瘡対策委員会	第4月曜	褥瘡を予防することを目的とする
	身体抑制廃止推進委員会	第4木曜	身体抑制廃止へ向けて職員の意識向上を図る事を目的とする
	輸血療法委員会	3ヶ月に1回	院内における輸血に際し、安全かつ適正な輸血療法が出来るよう輸血療法に関する事項について審議する
	医療ガス委員会	年2回	医療ガスの使用上の安全確保を目的とする
	労働安全衛生委員会	第3火曜	職員の安全と健康を確保することによって病院業務の円滑な運営を図る
	院内感染対策委員会	第4月曜	院内感染の予防対策及び知識の啓蒙を図り、健全な医療体制及び施設確立を図る
	看護部感染委員会	第4月曜	看護部の感染対策に対する現状を把握し、職員の感染対策に対する意識向上に向けた取り組みを目的とする。
	腰痛予防対策委員会	第4水曜	職場の労働安全衛生水準を向上させること
その他	編集委員会	第2火曜	広報誌の準備・編集・発送
	機能評価委員会	2ヶ月に1回	機能評価機構の認定及びその更新を目的とする
	エコアクション委員会	2ヶ月に1回	エコアクション21認定及びその更新を目的とする

院内研修会 開催状況

■全職員向け

月日	内容	講師	参加率 人数	研修分類
4月	エコアクションについて	学研メディカルサポート e-ラーニングシステム	83% 239人/288人	エコアクション
5月	スタンダードプリコーション2020	学研メディカルサポート e-ラーニングシステム	97% 264人/271人	感染対策
6月	これもハラスメント？正しい理解と適切な対応法	学研メディカルサポート e-ラーニングシステム	88% 256人/291人	エッセンシャル コース
7月	基礎から学ぼう！医療安全	学研メディカルサポート e-ラーニングシステム	95% 269人/283人	医療安全
8月	身につけておきたい医療現場の個人情報保護と情報リテラシー	学研メディカルサポート e-ラーニングシステム	95% 265人/278人	個人情報
9月	流行期に備えるインフルエンザ対策	学研メディカルサポート e-ラーニングシステム	94% 264人/281人	感染対策
10月	臨床倫理入門	学研メディカルサポート e-ラーニングシステム	79% 213人/271人	倫理
11月	これだけはおさえておきたいノロウイルス対策	学研メディカルサポート e-ラーニングシステム	82% 233人/283人	感染対策
12月	災害発生時の初動体制～病院での対応～	学研メディカルサポート e-ラーニングシステム	86% 243人/283人	災害対策
1月	落ち着いてクレームに対応するためのポイントを学ぼう	学研メディカルサポート e-ラーニングシステム	83% 233人/282人	接遇
2月	事例動画で考え学ぶ KYT (危険予知トレーニング)	学研メディカルサポート e-ラーニングシステム	84% 237人/282人	医療安全
3月	排尿自立指導料加算について	内田 洋介 成枝 真紀	25% 71名/284名	診療報酬
	2020年4月医療法改正に伴う診療放射線の安全管理の理解	学研メディカルサポート e-ラーニングシステム	84% 238人/283人	医療安全

年間研修会参加率平均 : 83%

第20回 院内研究発表会

新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、前年度に引き続き、3月に予定しておりました院内研究発表会開催を延期しております。

キラメキテラスヘルスケアホスピタル 実習受入れ

キラメキテラスヘルスケアホスピタル 実習受入れ

看護部

月 日	学校名	参加人員
5月1日～5月24日	鳳凰高等学校 成人看護学臨地実習Ⅱ	10名
11月8日～12月15日	鳳凰高等学校 成人看護学臨地実習Ⅱ	10名
12月6日～12月9日	鹿児島医療技術専門学校 基礎看護学実習	5名
12月13日～12月16日	鹿児島医療技術専門学校 基礎看護学実習	10名
10月1日～1月31日	鹿児島大学看護特定行為研修センター	適宜

地域医療連携センター

月 日	学校名	参加人員
8月9日～9月8日	鹿児島国際大学福祉社会学部社会福祉学科	2名

リハビリテーション室

月 日	学校名	参加人員
4月19日～6月12日	鹿児島第一医療リハビリ専門学校 理学療法学科	1名
5月24日～6月19日	麻生リハビリテーション大学校 言語聴覚学科	1名
6月7日～6月19日	鹿児島大学 医学部保健学科 作業療法学専攻	1名
6月28日～8月7日	鹿児島大学 医学部保健学科 作業療法学専攻	1名
6月28日～8月7日	神村学園医療専修学校	1名
7月26日～9月17日	原田学園 鹿児島医療技術専門学校 理学療法学科	1名
7月26日～9月17日	原田学園 鹿児島医療技術専門学校 作業療法学科	1名
8月9日～10月1日	鹿児島第一医療リハビリ専門学校 言語聴覚学科	1名
10月4日～11月27日	熊本保健科学大学 言語聴覚学科	1名
10月11日～11月5日	鹿児島医療技術専門学校 理学療法学科	1名
11月22日～12月17日	南学園 鹿児島医療福祉専門学校 理学療法学科	1名
2月7日～2月10日	南学園 鹿児島医療福祉専門学校 理学療法学科	1名
2月7日～2月12日	熊本保健科学大学 言語聴覚学科	1名
2月14日～2月19日	熊本保健科学大学 言語聴覚学科	1名
2月14日～2月19日	熊本保健科学大学 言語聴覚学科	1名

栄養室

月 日	学校名	参加人員
8月16日～8月27日	鹿児島県立短期大学 生活科学科 食物栄養専攻	2名
10月～12月(7.5日間)	鹿児島県立短期大学 生活科学科 食物栄養専攻	1名

臨床工学室

月 日	学校名	参加人員
10月11日～10月22日	鹿児島医療工学専門学校 臨床工学学科 3年生	1名